eコミマップ

地図画面操作マニュアル

Ver. 2.4.1

2015/06/30

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

目次

1 はじめに 3

2 システムの説明 3

3 操作マニュアル 4

3.1 Eコミマップパーツ画面 4

① e コミグループウェアの e コミマップパーツ 5

② マップ作成画面 6

③ 作成済み項目一覧 7

④ マップ変更画面 10

⑤ 公開範囲設定画面 11

⑥ ブログへの e コミマップ埋め込み画面 12

3.2 Eコミマップ地図一覧画面 14

① ログイン画面 14

② 項目一覧タブ 15

③ 項目一覧タブ（ログインしていない場合） 15

④ 地図一覧タブ 16

⑤ 地図一覧タブ（ログインしていない場合） 16

⑥ 公開設定画面 18

⑦ iframe での地図一覧の埋め込み表示 21

⑧ iframe での地図画面の埋め込み表示 22

⑨ 埋め込み用 HTML タグでの項目一覧／地図一覧の埋め込み 22

3.3 E コミマップ画面 23

① 地図表示画面 26

② 凡例一覧 30

③ 描画設定 33

④ 属性による描画切替 39

⑤ メモ描画 41

⑥ サイドバー 45

⑦ ツールバー 49

⑧ 項目追加ダイアログ 51

⑨ 属性設定ダイアログ 54

⑩ 登録情報編集ダイアログ 56

⑪ ファイル追加ダイアログ 60

⑫ ファイル選択ダイアログ 61

⑬ 地図追加ダイアログ 62

⑭ 印刷ダイアログ 71

⑮ 印刷範囲保存ダイアログ 76

⑯ 印刷範囲読み込みダイアログ 76

⑰ 情報一覧画面 77

⑱ 一括登録ダイアログ 80

⑲ 登録情報検索ダイアログ 83

⑳ 属性集計・更新画面 91

21 時系列スライダ画面 92

1　はじめに

本マニュアルは、e コミマップの操作方法について説明するものであり、e コミマップが利用可能なユーザを対象とします。

2　システムの説明

地域コミュニティにおいて地域の防災情報等を地図上に登録することで、地域の防災マップ等を作成し、地域住民の防災対策の検討および実施を支援するものです。

本システムでは、e コミグループウェアをポータルサイトとし、e コミグループウェアに e コミマップパーツを組み込むことで e コミグループウェアと e コミマップを連携させています。

3　操作マニュアル

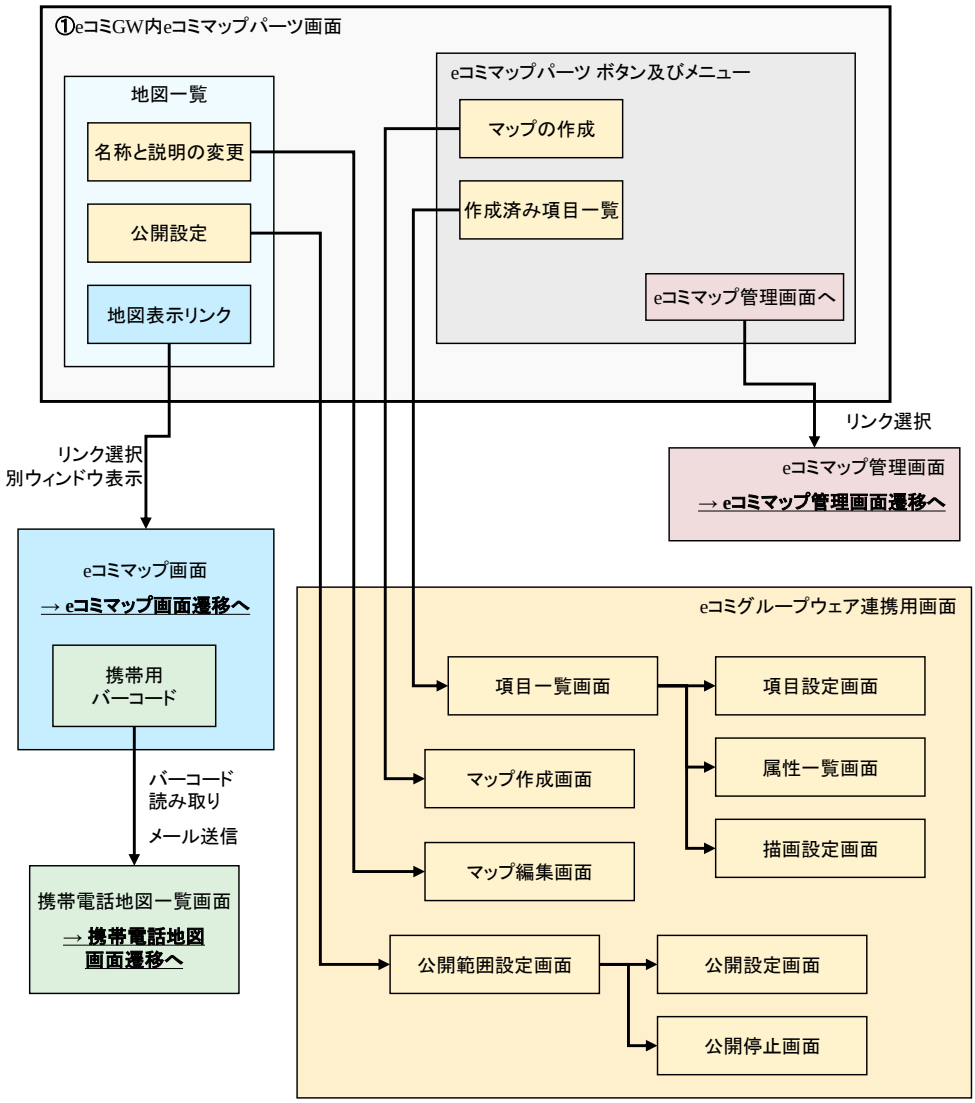
本章では、利用の基本となるポータルサイト、地図を作成するための地図作成ウィザード、地図の閲覧・編集の操作について説明を行います。

3.1　　eコミマップパーツ画面

e コミマップパーツ画面は、e コミグループウェアから e コミマップを利用するための、情報を e コミグループウェアに表示するための画面です。

以下に e コミマップパーツからの画面遷移を示します。

画面遷移



① e コミグループウェアの e コミマップパーツ

Web ブラウザを起動し、e コミグループウェアを表示します。

e コミグループウェアに e コミマップパーツが配置されている場合に e コミマップパーツが表示されます。

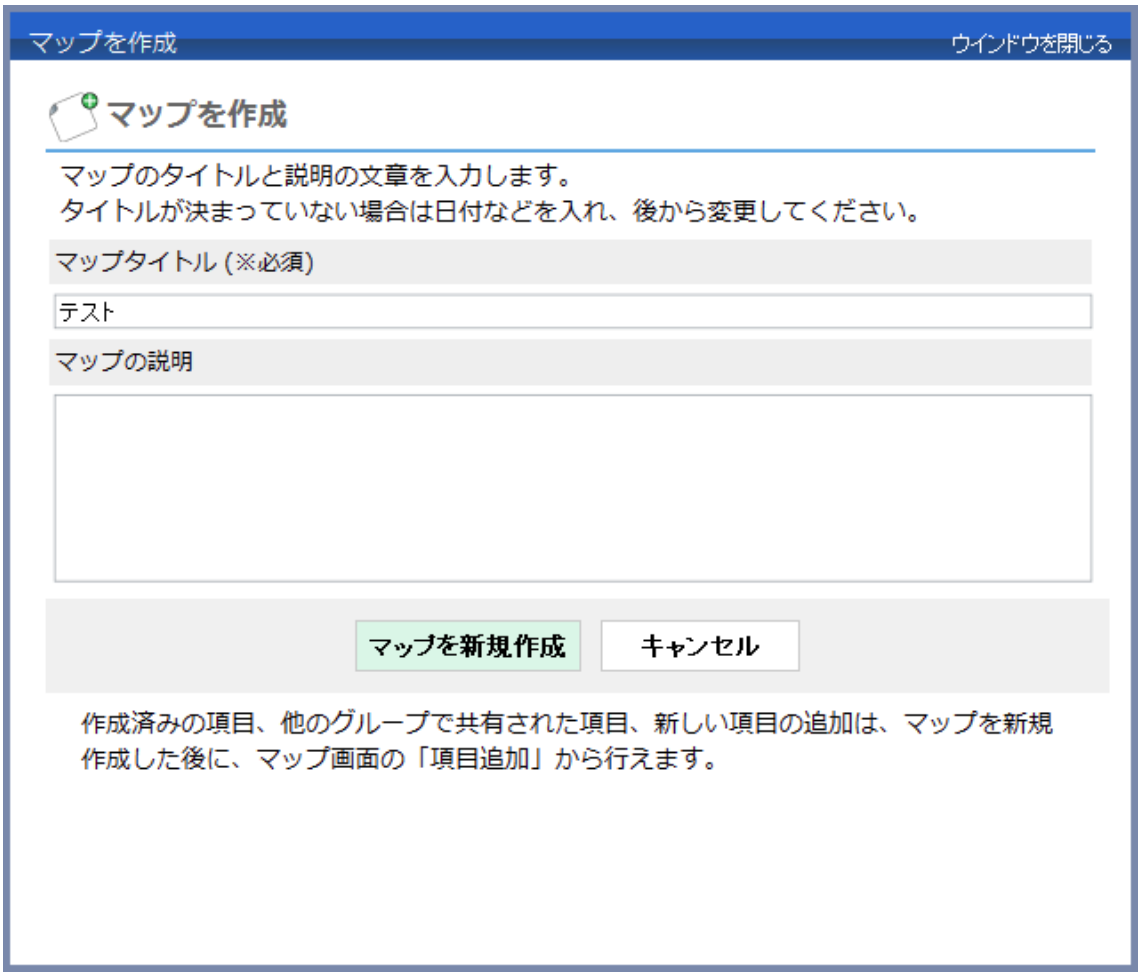
e コミマップパーツに表示されるマップのタイトルかプレビュー画像をクリックすると、該当する e コミマップが別ウィンドウに表示されます。



② マップ作成画面

e コミマップパーツで「マップを作成」を選択すると、マップ作成画面が表示されます。

タイトルと説明を入力後、「マップを新規作成」ボタンを押すことで新しくマップが作成され一覧に追加されます。



③ 作成済み項目一覧

ｅコミマップパーツで「作成済み項目一覧」を選択すると、以下の画面が表示されます。

作成済みの項目の一覧が表示され、属性の変更や描画設定や公開範囲の設定を行うことができます。

項目の情報を入力して、「項目を新規作成」ボタンを押すことで項目の新規追加も行うことができます。



・項目設定

作成済み項目一覧で「項目設定」を選択することで、項目の設定を変更することができます。



・属性一覧

作成済み項目一覧で「属性一覧」を選択することで、項目の属性の一覧の表示と、属性の設定と属性および属性グループの新規追加をすることができます。



④ マップ変更画面

e コミマップパーツのマップ一覧の「名前と説明を変更」を選択すると、マップ変更画面が表示されます。

「マップを更新」ボタンを押すと、入力したマップタイトルとマップの説明で更新されます。

「マップを削除」ボタンを押すと、マップを削除します。

「キャンセル」ボタンを押すと、この画面を閉じます。



⑤ 公開範囲設定画面

e コミマップパーツのマップ一覧の「公開範囲設定」を選択すると、公開範囲設定画面が表示されます。

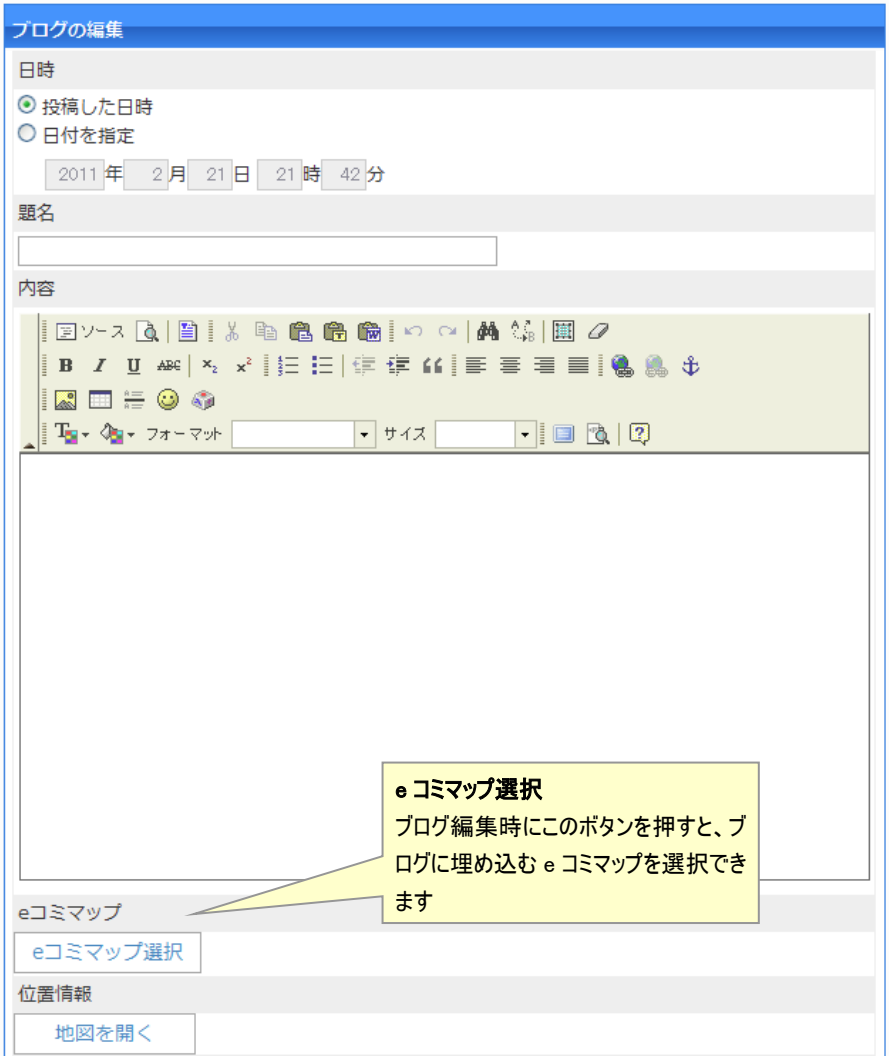
地図の公開範囲を選択すると、マップ内の各項目の公開状態が表示され、項目の公開範囲も設定後、「公開範囲を設定」ボタンを押すことで、公開範囲を設定することができます。

公開済みのマップ右の「公開停止」を選択すると、設定済みのマップ内の各項目の公開状態が表示され、項目の公開範囲も設定後、「公開停止」ボタンを押すことで、公開範囲を設定することができます。



⑥ ブログへの e コミマップ埋め込み画面

e コミマップパーツが利用可能な e コミグループウェアでは、ブログに作成済みの e コミマップを埋め込むことができます。



一覧から埋め込む e コミマップを選びます。

マップの初期表示位置以外の場所の表示や、地点を選択した状態で埋め込む場合は、「場所を選択」ボタンを押してください。



3.2　eコミマップ地図一覧画面

e コミマップの URL を入力することで、サイト一覧またはサイトの地図一覧画面が表示されます。

① ログイン画面

閲覧権限のない e コミマップ画面の URL または閲覧可能な地図がないサイトの URL を Web ブラウザで表示した場合に表示されます。

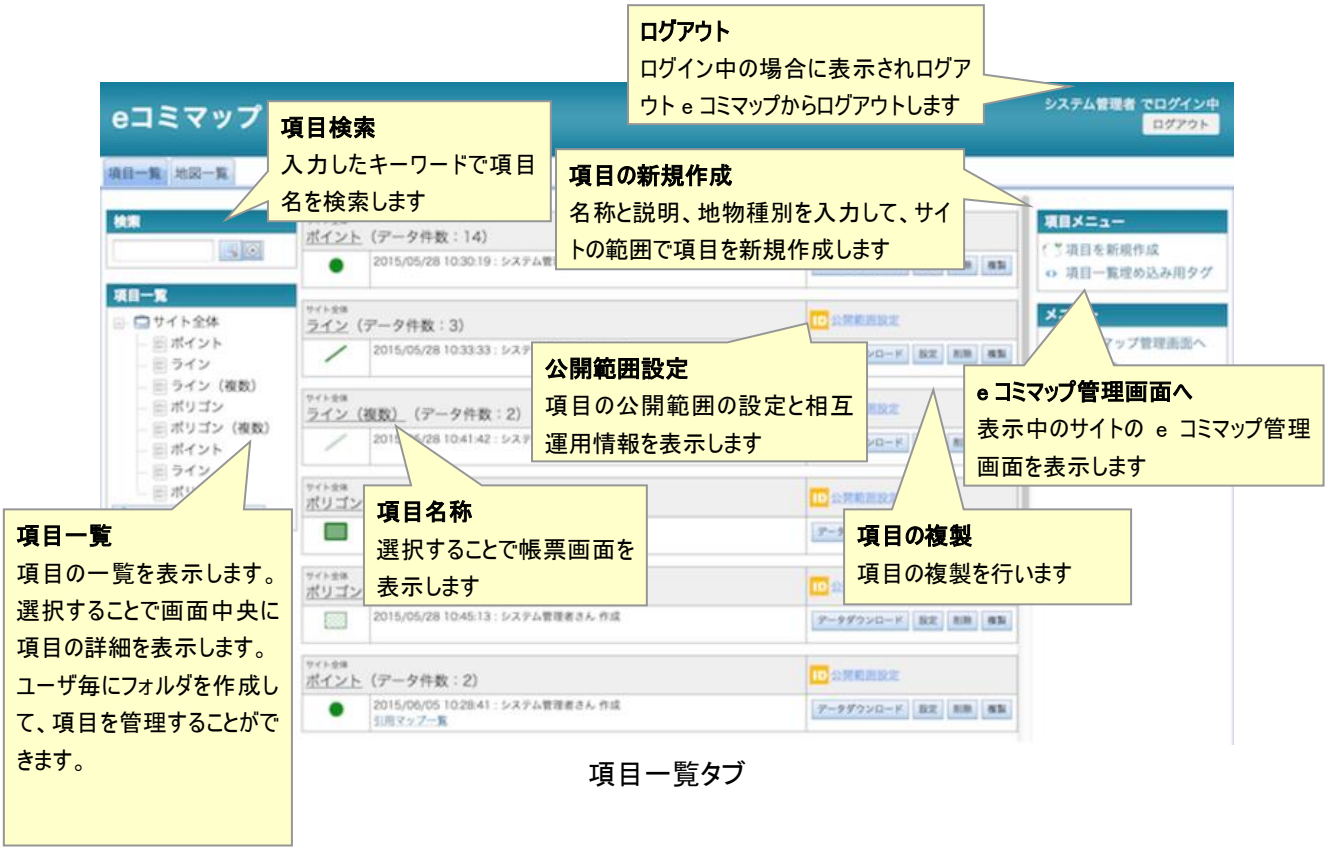
閲覧権限のあるユーザでログインすることで入力した e コミマップ画面または地図一覧画面が表示されます。



ログイン画面

② 項目一覧タブ

この画面では、項目一覧の表示、項目の新規作成を行います。画面中央に表示された項目名称を選択することで、帳票画面を開くことができます。



項目一覧タブ

③ 項目一覧タブ（ログインしていない場合）

e コミマップにログインしていない場合は、閲覧可能な項目がある場合のみ、項目一覧が表示されます。



項目一覧タブ（ログインしていない場合）

④ 地図一覧タブ

地図一覧からは、e コミマップ画面の表示、マップの新規作成、作成済み項目の一覧表示、iframe 埋め込み用タグの表示、公開範囲の設定を行うことができます。



地図一覧タブ

⑤ 地図一覧タブ（ログインしていない場合）

e コミマップにログインしていない場合は、閲覧可能な地図がある場合のみ、地図一覧が表示されます。



地図一覧タブ（ログインしていない場合）

⑥ 公開設定画面

e コミマップにログインしており、地図の編集が可能な場合は、地図一覧の公開設定のリンクをクリックすることで、公開設定を行うことができます。




公開範囲設定
新規作成テスト 公開範囲設定
地図の公開範囲（インターネット、サイト内、特定のグループ）を設定できます。
同時に、地図内の項目の公開範囲を設定できます。
「デモ用グループページ」の項目の「デモ用グループページ２」への公開範囲
地図の公開範囲に対する項目の公開範囲が設定できます。
この設定は、他の地図で公開されている項目にも反映されますのでご注意ください。
公開範囲一括変更:
[公開設定なし] [閲覧可] [登録可]
凡例
項目名 / 利用中のマップ
公開先と公開設定
公開状態
デモ編集者の項目1
デモ用グループページ２
他グループより引用している項目の設定後の「デモ用グループページ２」での公開範囲
凡例
項目名
所有グループ / 公開設定
避難所
サイト全体
インターネット
デモ用グループページ
[登録可]
[閲覧可]
推奨避難ルート
町丁目界
キャンセル
公開設定一括設定
登録情報の公開設定を、一括設定します
公開設定
選択した公開先での登録情報の公開設定を、権限なし、閲覧のみ、ダウンロード可、登録から選択します
公開範囲を設定
地図と登録情報項目を公開設定します

公開先設定時

⑦ メタデータ編集画面

e コミマップにログインしており、地図の編集が可能な場合は、公開設定のメタデータ編集・登録画面へ移動のボタンをクリックすることで、メタデータの設定を行うことができます。

メタデータの編集は必要項目のみを編集する簡易エディタと、詳細エディタを利用できます。

メタデータの登録先のクリアリングハウスはサイト設定画面で設定した、平常時クリアリングハウスと災害時クリアリングハウスから選択して登録します。



⑧ iframe での地図一覧の埋め込み表示

埋め込み用の iframe タグを利用して、外部のブログ等に地図一覧を埋め込むことができます。

埋め込まれた地図一覧では、地図の一覧表示、地図画面への切り替え、相互運用情報の表示、e コミマップのアカウントでのログインを行うことができます。



埋め込み用地図一覧

⑨ iframe での地図画面の埋め込み表示

埋め込み用の iframe タグを利用して、外部のブログ等に地図画面を埋め込むことができます。
地図一覧からの表示でもこの画面が表示されます。



埋め込み用地図画面

⑩ 埋め込み用 HTML タグでの項目一覧／地図一覧の埋め込み

埋め込み用 HTML タグを利用して、外部のブログ等に項目一覧・地図一覧を埋め込むことができます。

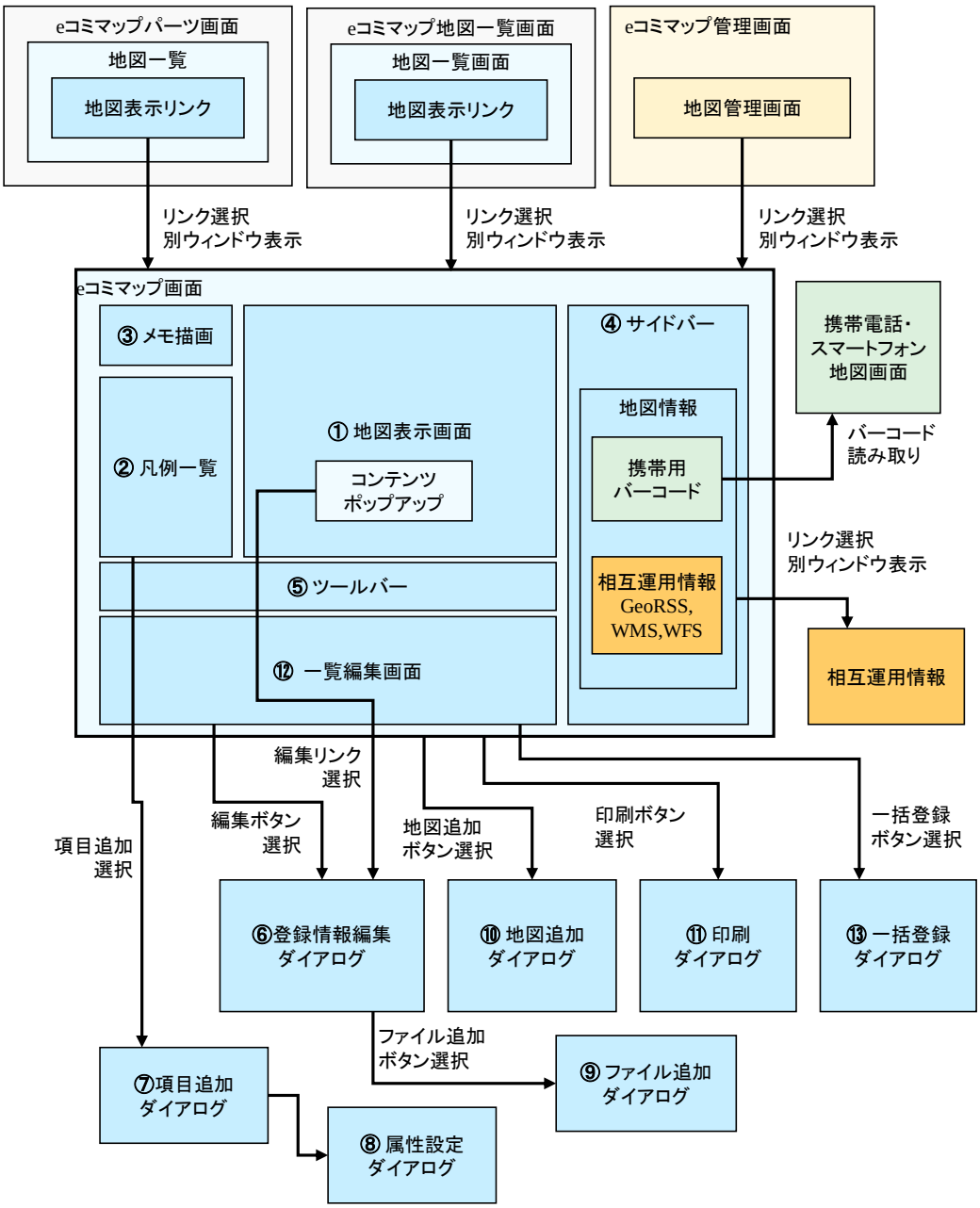
埋め込まれた項目一覧では、項目の一覧表示、オープンデータ情報の表示、表画面オープン、また地図一覧では、地図の一覧表示、相互運用情報の表示、地図画面オープンができます。

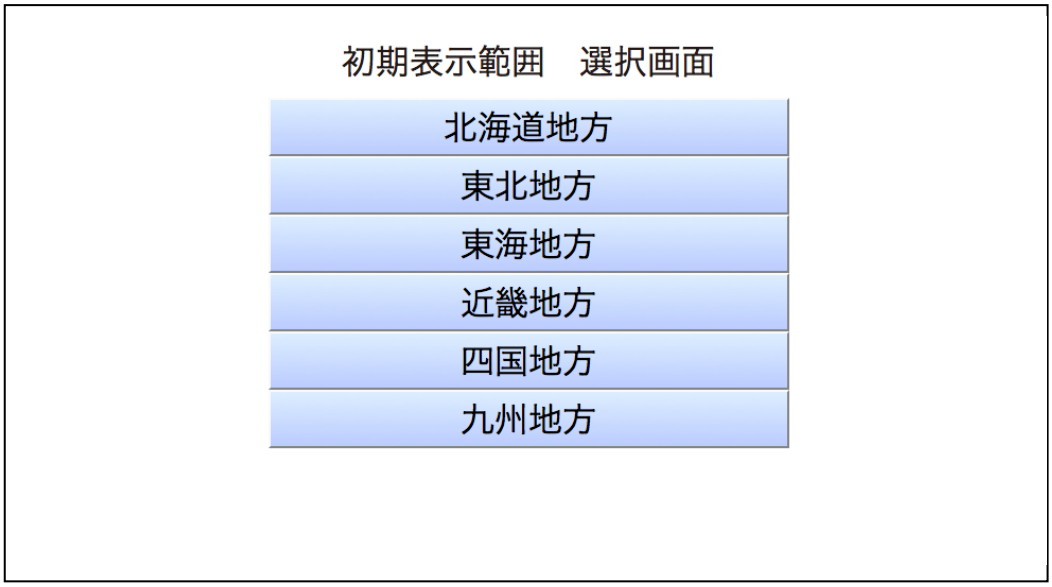
3.3　　e コミマップ画面

以下に e コミマップの基本画面を示します。ここから地図の閲覧及び編集が可能です。防災マップはポータルサイトの基本画面あら、該当するマップを選択することで起動できます。

e コミマップはポータルサイトとは別の新規ウィンドウで起動します。e コミマップ画面のウィンドウを閉じることで終了します。

画面遷移

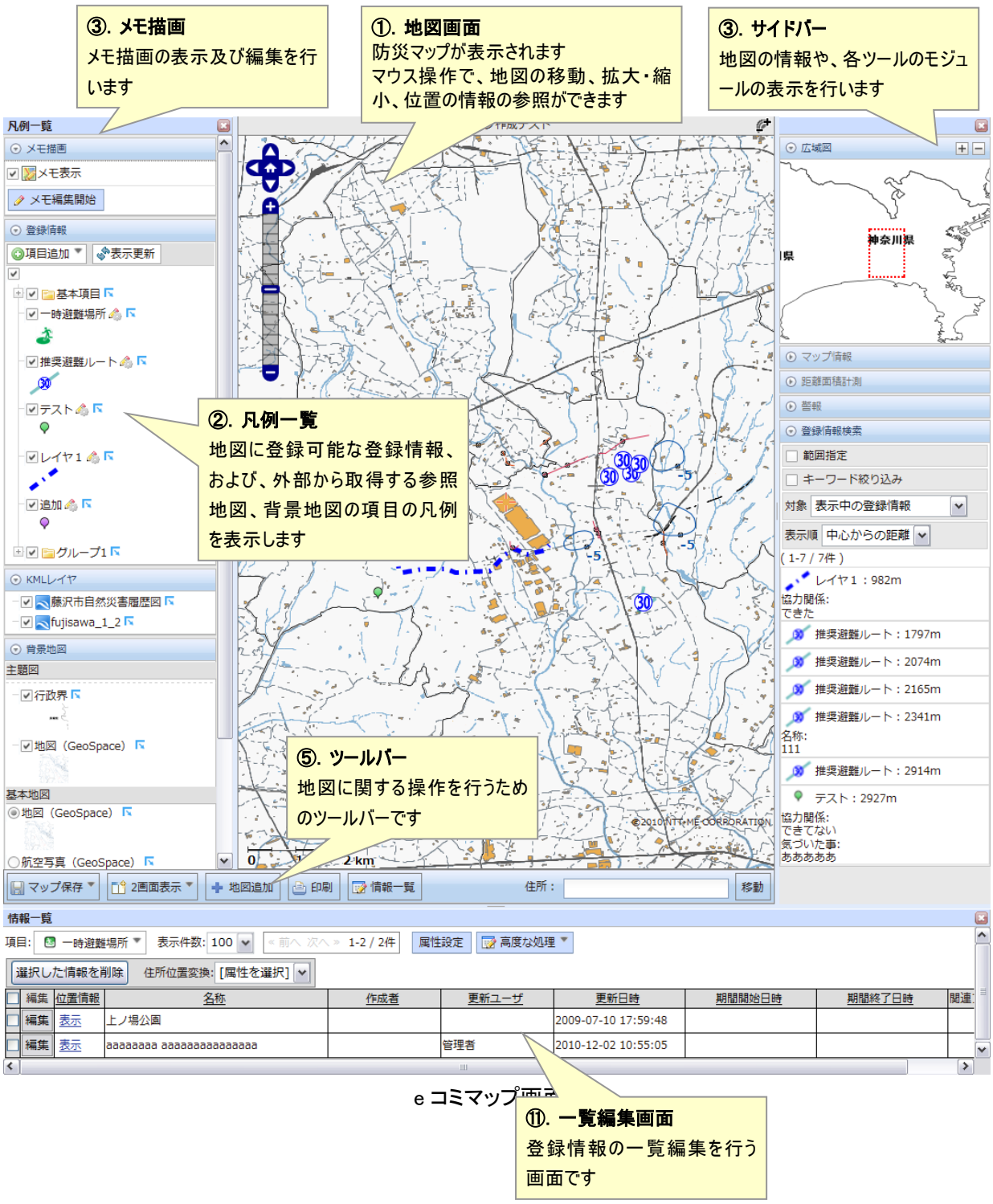




初期表示範囲設定画面

選択した初期表示範囲で、地図画面を表示します。

初期表示範囲が設定されていない場合は、この選択画面は表示されません。


③. メモ描画
メモ描画の表示及び編集を行います
①. 地図画面
防災マップが表示されます
マウス操作で、地図の移動、拡大・縮小、位置の情報の参照ができます
③. サイドバー
地図の情報や、各ツールのモジュールの表示を行います
②. 凡例一覧
地図に登録可能な登録情報、および、外部から取得する参照地図、背景地図の項目の凡例を表示します
⑤. ツールバー
地図に関する操作を行うためのツールバーです
⑪. 一覧編集画面
登録情報の一覧編集を行う画面です
凡例一覧
メモ描画
メモ表示
メモ編集開始
登録情報
項目追加
表示更新
基本項目
一時避難場所
推奨避難ルート
テスト
レイヤ1
追加
グループ1
KMLレイヤ
藤沢市自然災害履歴図
fujisawa_1_2
背景地図
主題図
行政界
地図（GeoSpace）
基本地図
地図（GeoSpace）
航空写真（GeoSpace）
広域図
神奈川県
マップ情報
距離面積計測
警報
登録情報検索
範囲指定
キーワード絞り込み
対象
表示中の登録情報
表示順
中心からの距離
(1-7 / 7件)
レイヤ1：982m
協力関係:
できた
推奨避難ルート：1797m
推奨避難ルート：2074m
推奨避難ルート：2165m
推奨避難ルート：2341m
名称:
111
推奨避難ルート：2914m
テスト：2927m
協力関係:
できてない
気づいた事:
あああああ
マップ保存
2画面表示
地図追加
印刷
情報一覧
住所：
移動
情報一覧
項目:
一時避難場所
表示件数:
100
1-2 / 2件
属性設定
高度な処理
選択した情報を削除
住所位置変換:
[属性を選択]
編集
位置情報
名称
作成者
更新ユーザ
更新日時
期間開始日時
期間終了日時
編集
表示
上ノ場公園
2009-07-10 17:59:48
編集
表示
aaaaaaaa aaaaaaaaaaaaaa
管理者
2010-12-02 10:55:05

e コミマップ画面

① 地図表示画面

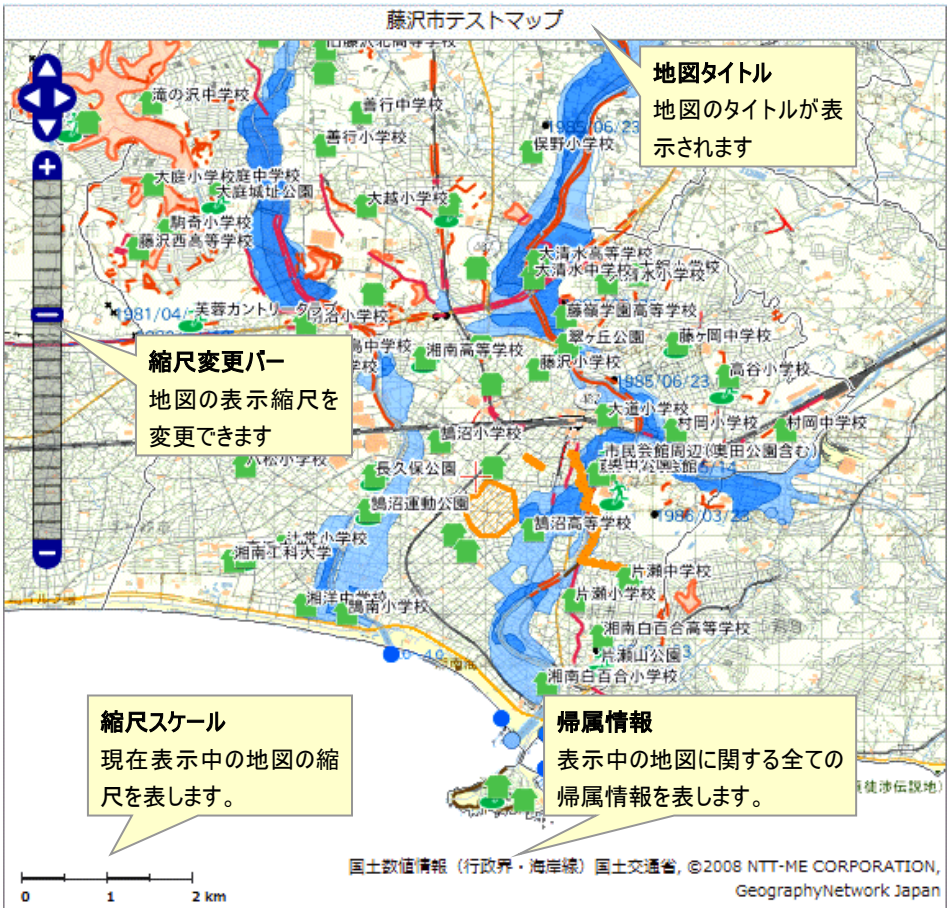
地図および地図のタイトルが表示されます。主な機能を以下に列挙します。

・地図をドラッグすると表示範囲を移動できます。

・地図をダブルクリックすると縮尺を拡大できます。

・左側の縮尺変更バーで、縮尺の変更ができます。

・下部に地図の縮尺スケールと、帰属情報が表示されます。



地図上のアイコン（情報があることを表す記号）をクリックすると、その地点の情報を吹き出しで表示することができます。

・通常は、その地点の情報が吹き出しで表示されます。

・クリックした地点に複数の情報がある場合、情報の一覧が表示されます。一覧から情報を選択すると、選択した情報が表示されます。

・地図上の右クリックメニュー[MGRS コード]-[表示]からその位置の MGRS コードを表示します。
表示を破棄する場合は、[MGRS コード]-[すべて削除]を選択します。

・地図上の右クリックメニュー[標高値]-[表示]からその位置の標高値を表示します。
表示を破棄する場合は、[標高値表示]-[すべて削除]を選択します。





登録情報一覧



登録情報一覧
選択した登録情報が表示されます
クリックした地点からの距離順に 10 件まで表示されます。
ファイルが登録されている登録情報は右側にファイルのプレビューが表示されます。
主題図の情報を検索のリンクを選択することで、クリック位置の登録情報の下に表示されている主題図を検索することができます。

登録情報の表示

編集
登録情報編集ダイアログを表示して、登録情報の編集を開始します

ポップアップ移動ボタン
ポップアップの表示位置を 90 度変更します

ポップアップ固定ボタン
他の登録情報を表示したときにポップアップを閉じないようにします

拡大・中心
登録情報の最適な縮尺に、地図の縮尺を変更します



MGRS コード
登録位置の MGRS コードを表示します

ファイル一覧
登録情報に関連づけられている添付ファイルを一覧表示します
クリックすると画像の表示またはリンクの表示をします

一覧に戻る
一覧から選択した場合に表示され、登録情報一覧に戻ります

属性一覧
登録情報の属性を一覧表示します

主題図の表示と形状の登録

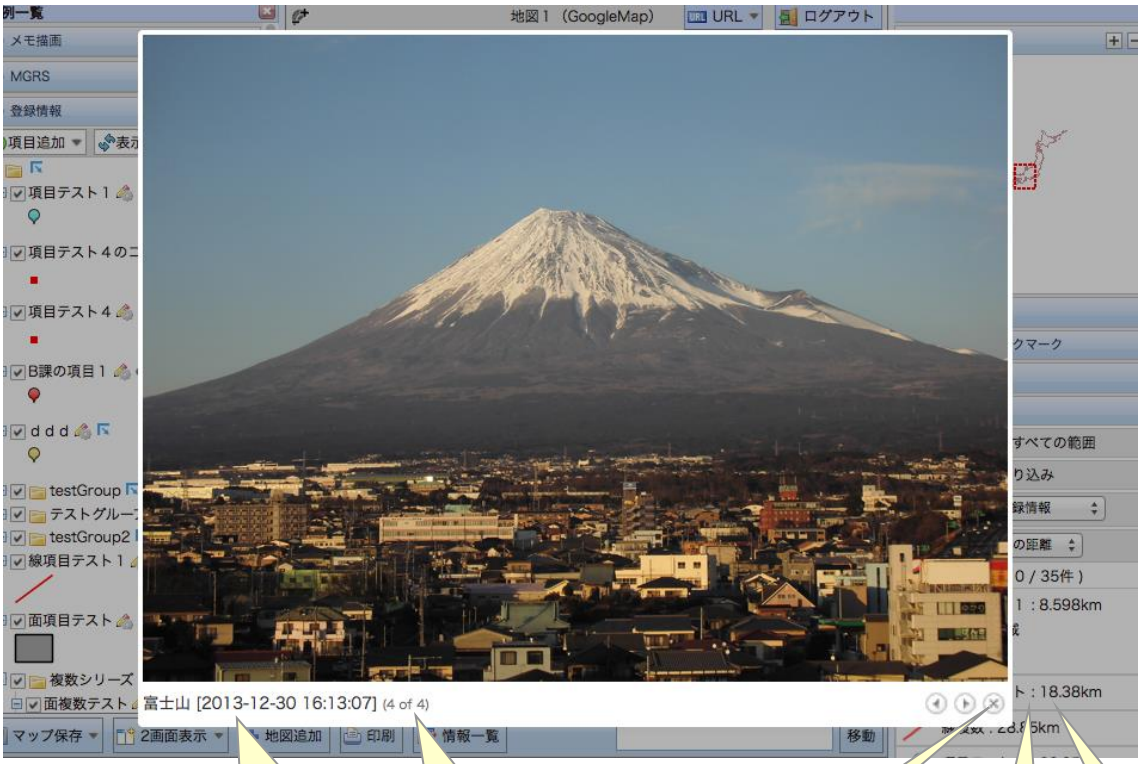


主題図地物一覧
一覧が表示され選択した地物の形状が表示されます。



主題図形状登録
一覧で選択した主題図の形状で登録情報を新規登録できます。

添付画像の表示



タイトル
画像にタイトルがついていない場合は、画像ファイル名を表示します。

撮影日時
画像に撮影日時情報が含まれている場合に、表示します。

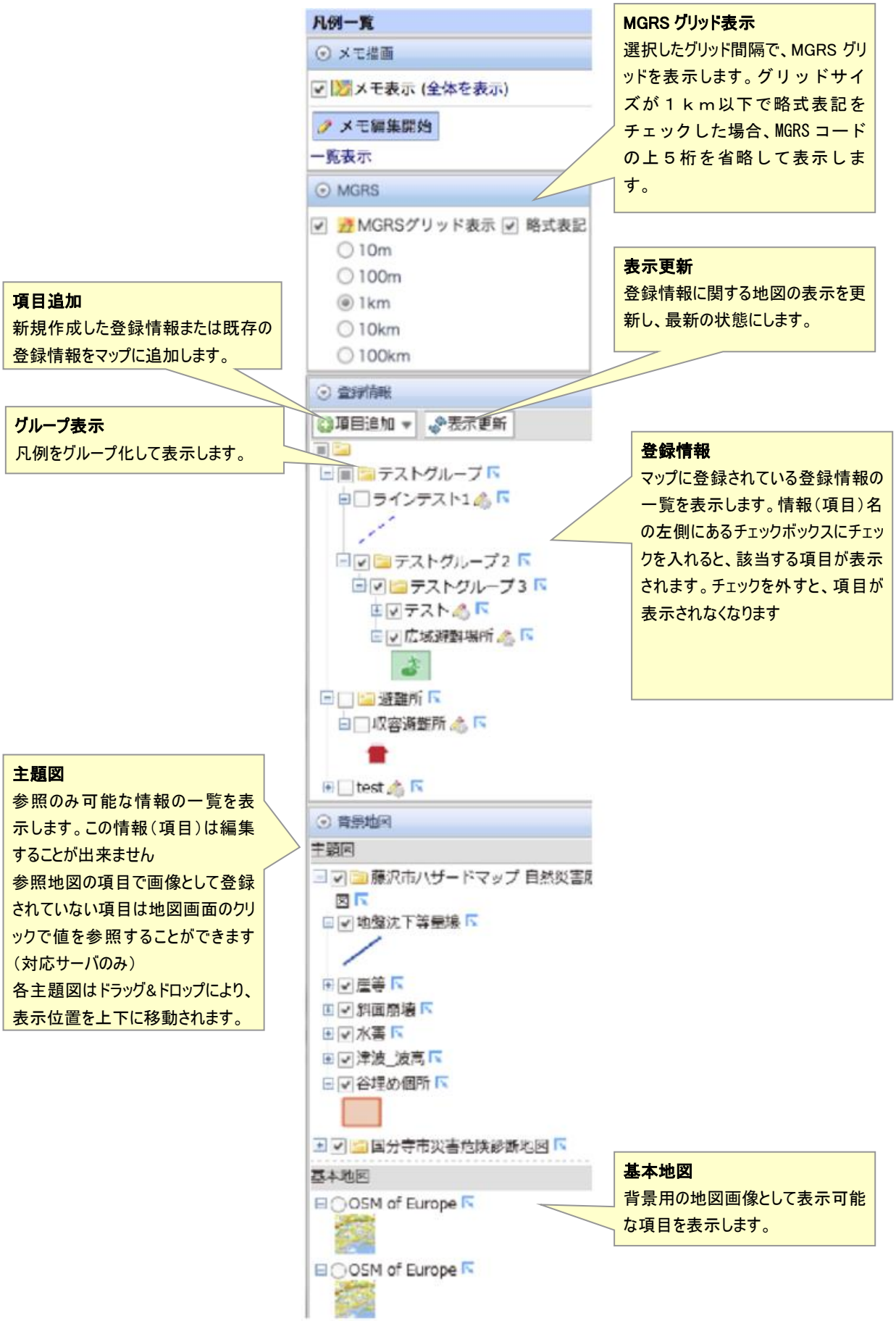
前の写真

次の写真

閉じる

② 凡例一覧

地図に表示することが出来る情報の一覧を表します。チェックボックスに続いて、それぞれの情報のタイトルと、凡例が表示されます。地図に表示可能な情報は「項目」と呼ばれ、チェックボックスをクリックするたびに、該当する項目の表示・非表示が切り替わります。



MGRS グリッド表示
選択したグリッド間隔で、MGRS グリッドを表示します。グリッドサイズが１ｋｍ以下で略式表記をチェックした場合、MGRS コードの上５桁を省略して表示します。

表示更新
登録情報に関する地図の表示を更新し、最新の状態にします。

項目追加
新規作成した登録情報または既存の登録情報をマップに追加します。

グループ表示
凡例をグループ化して表示します。

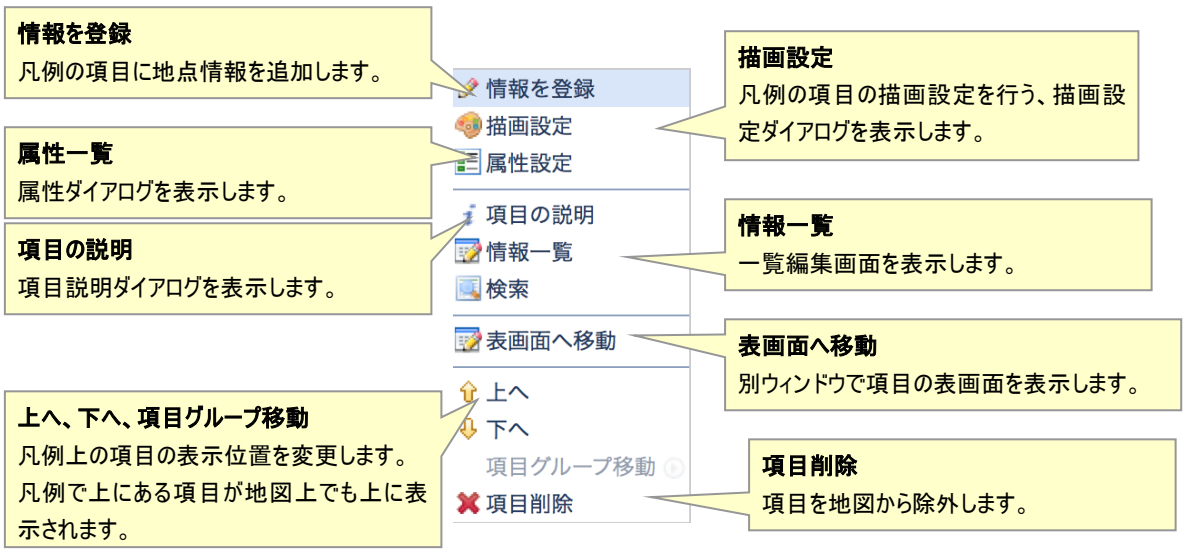
登録情報
マップに登録されている登録情報の一覧を表示します。情報（項目）名の左側にあるチェックボックスにチェックを入れると、該当する項目が表示されます。チェックを外すと、項目が表示されなくなります

主題図
参照のみ可能な情報の一覧を表示します。この情報（項目）は編集することが出来ません
参照地図の項目で画像として登録されていない項目は地図画面のクリックで値を参照することができます（対応サーバのみ）
各主題図はドラッグ&ドロップにより、表示位置を上下に移動されます。

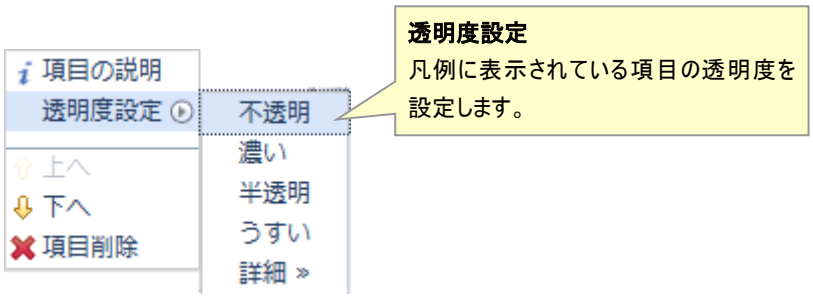
基本地図
背景用の地図画像として表示可能な項目を表示します。

凡例を右クリックまたは をクリックすることで凡例のメニューを表示することができます。

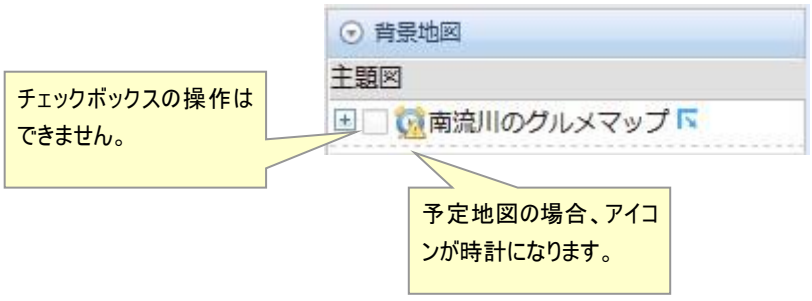
・ 登録情報凡例メニュー



・その他凡例メニュー



主題図に追加された予定地図は、メタデータの地図の作成状況が「予定」の場合、地図の表示・非表示のチェックボックスを操作できません。「完成」の予定地図は通常の主題図項目として操作できます。

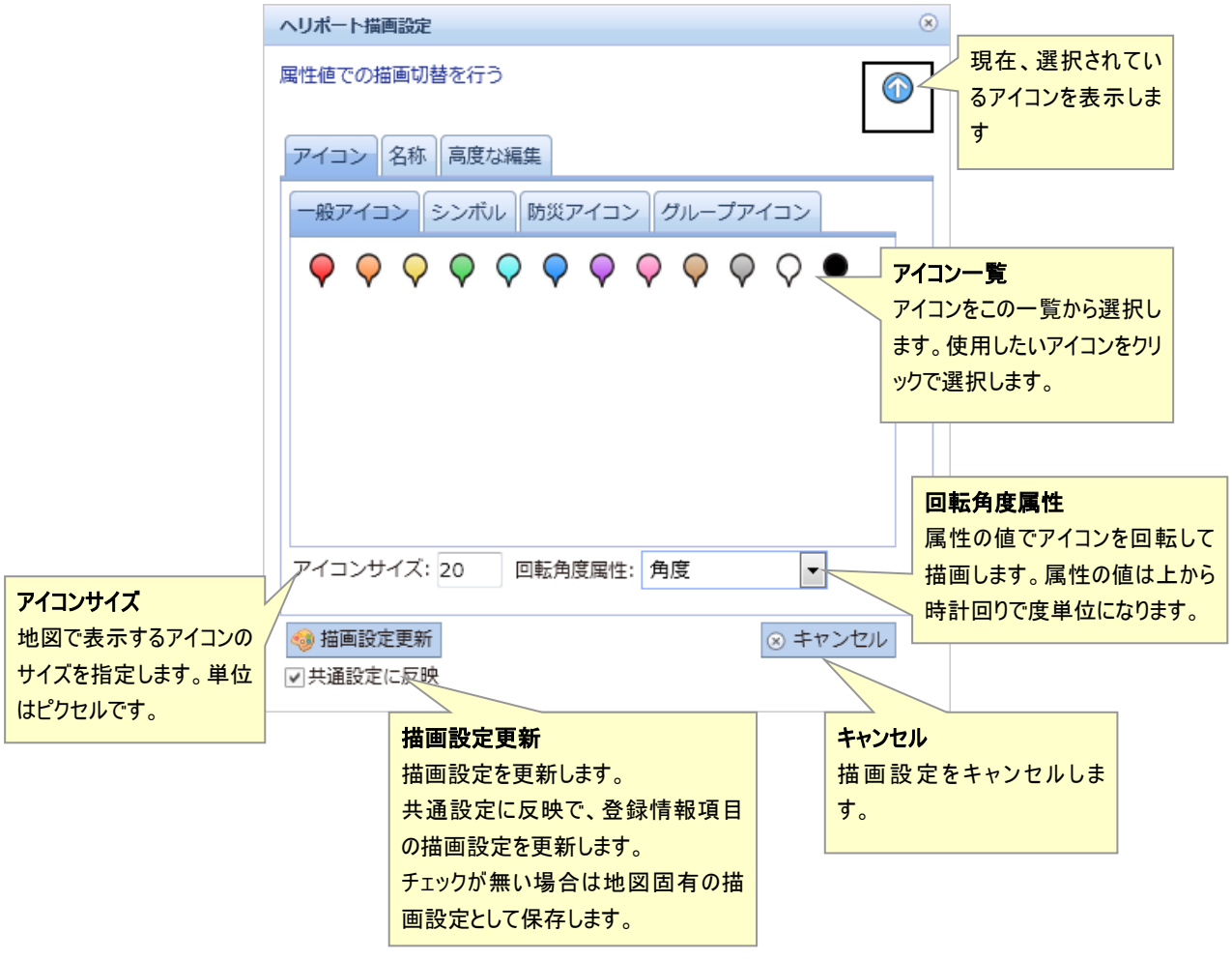


③ 描画設定

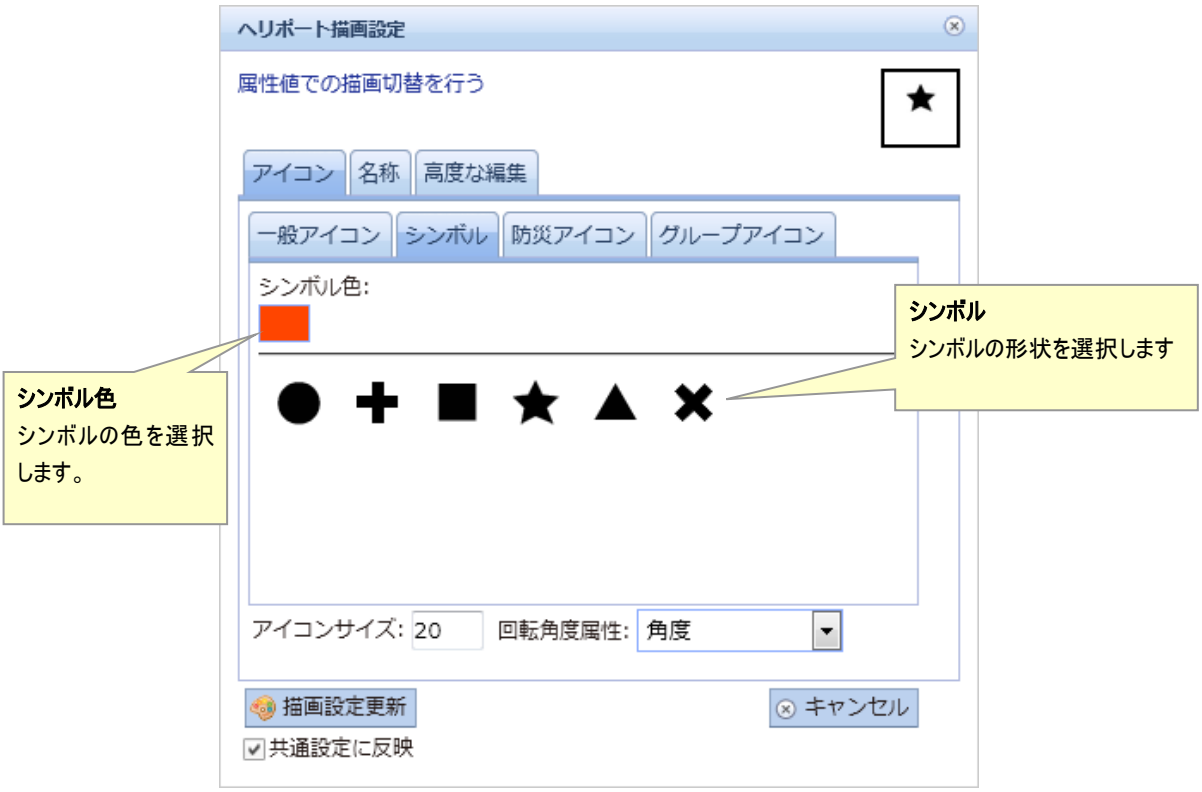
登録した地点データの描写情報を設定行います。

あらかじめ設定したデフォルトアイコンから選択するか、ユーザがアップロードしたアイコンを選択して描写設定を行います。

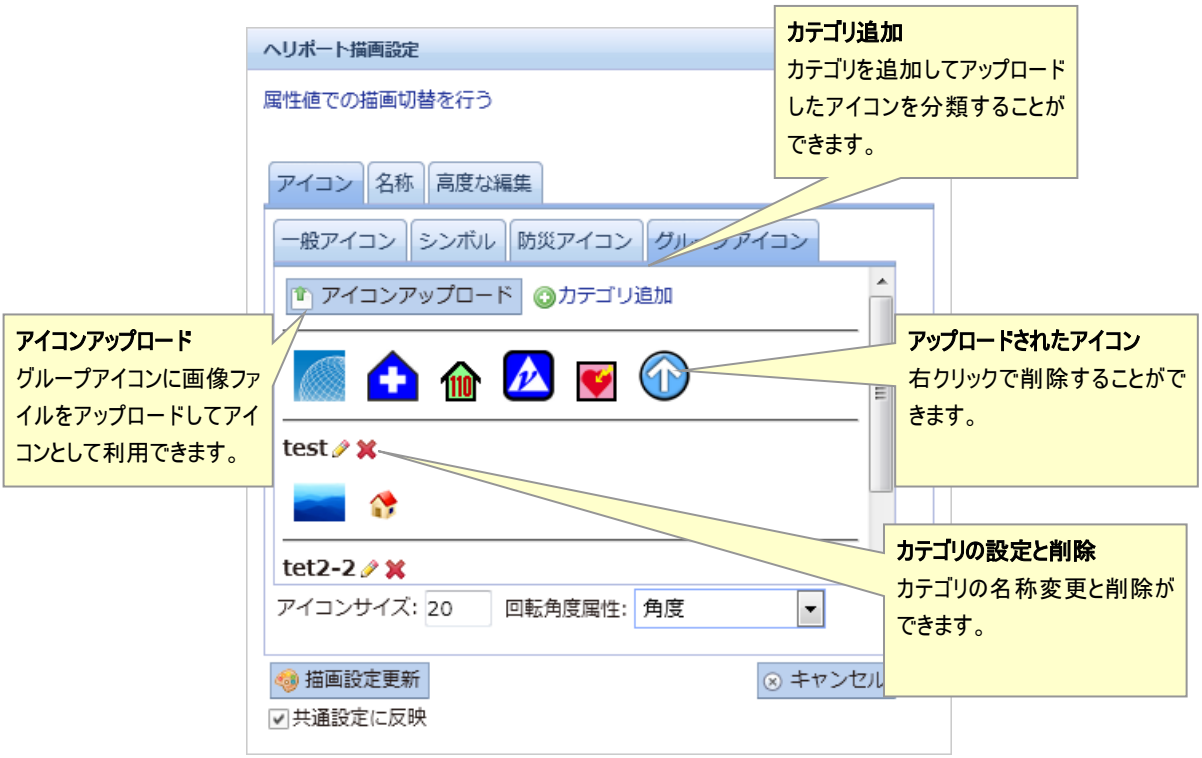
・描画設定　一般アイコン



・描画設定 シンボル



・描画設定 ユーザアイコン



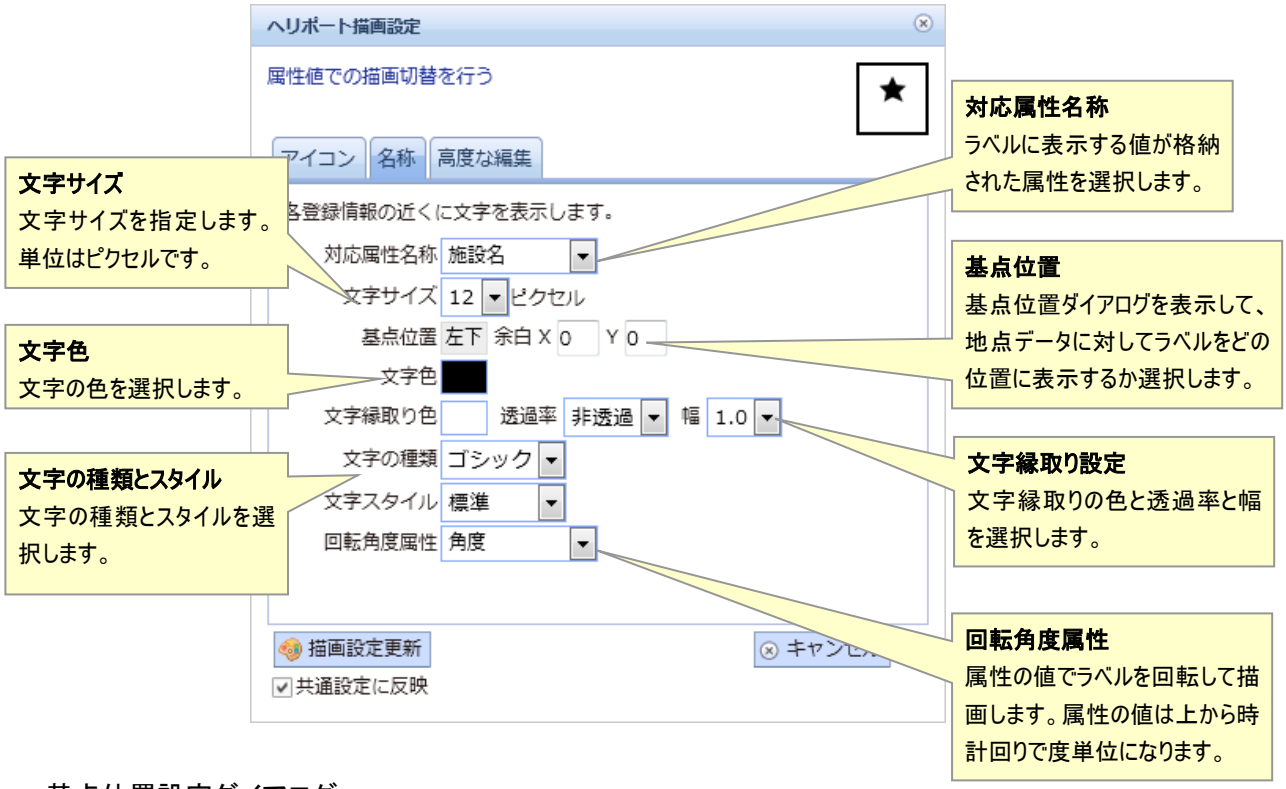
・描画設定 アイコンアップロードダイアログ

・ 「アイコンアップロード」ボタンを押すことで表示されます。 ファイルを選択してアイコン画像をアップロードします。



・描画設定（ラベル）

登録した地点データに表示するラベルの設定を行います。

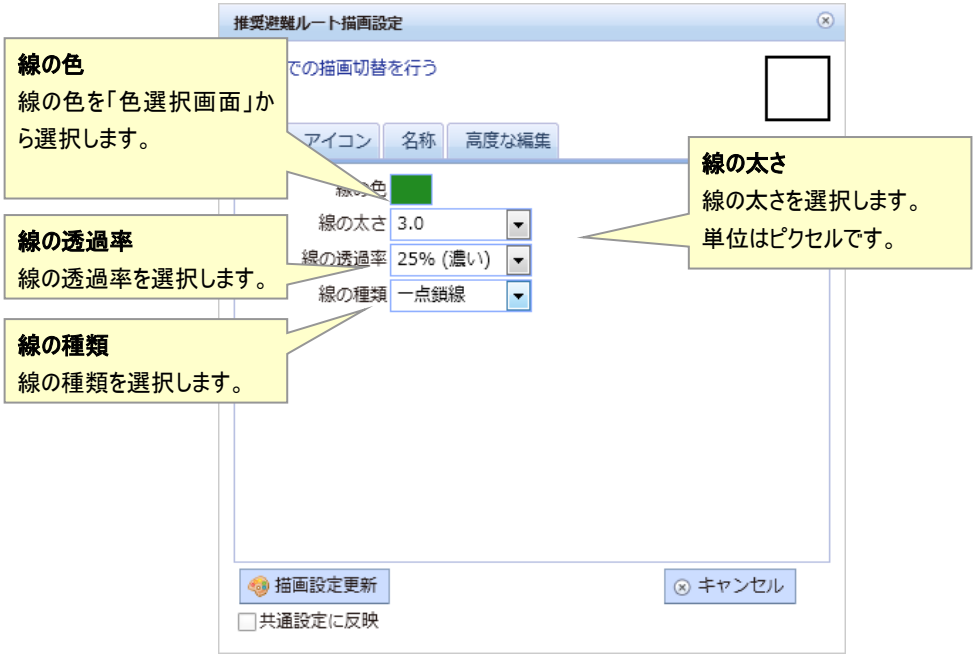


・基点位置設定ダイアログ



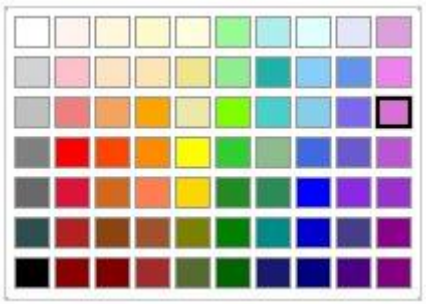
・描画設定　線

登録した線データの描画設定を行います。



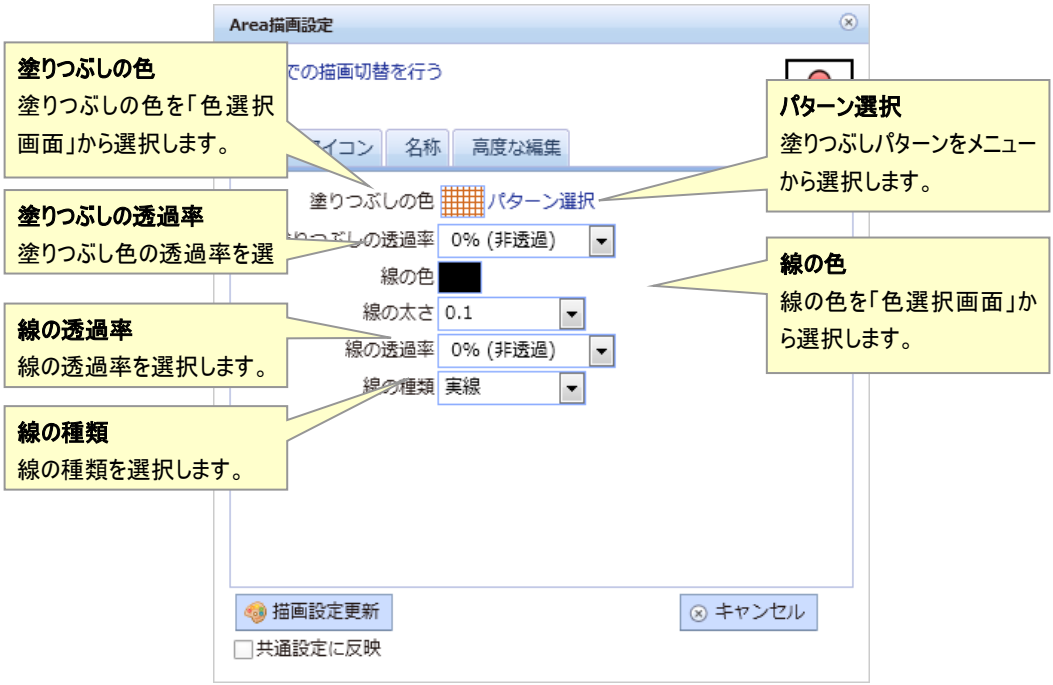
・色選択画面

色を設定する際に表示されます。クリックした色が
色選択欄に設定されます。



・描画設定　面

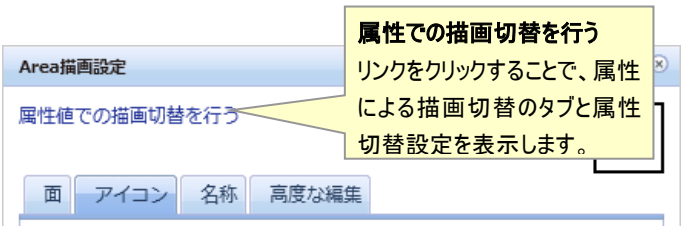
登録した面データの描画設定を行います。

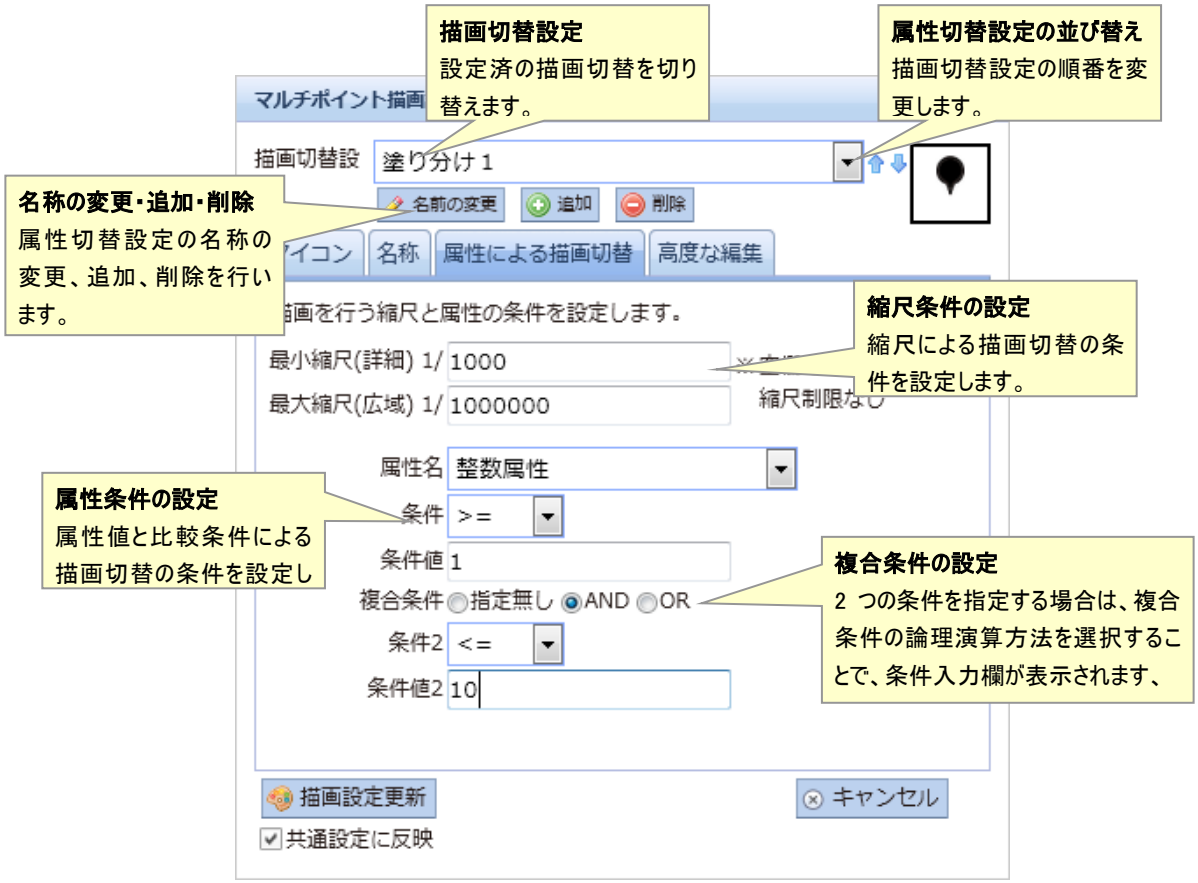


④　属性による描画切替

属性値による塗り分け設定を行います。

条件値は、文字型の属性は数字を入力した場合も文字列として比較されます。 数値型の属性は数値の大小で比較されます。





・描画設定 SLD 編集

属性値による塗り分け設定や、より詳細な描画設定を行う場合は SLD を直接編集します。



⑤ メモ描画

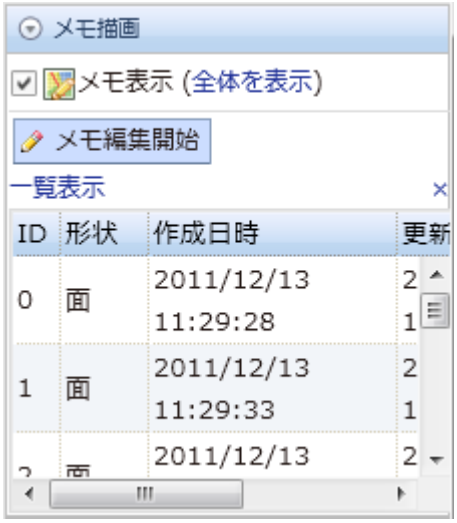
メモ描画は地図毎にメモ図形を登録することができる機能です。

メモ描画画面ではメモの地図画面上への表示の ON/OFF の設定を行います。

メモの編集が可能な利用者の場合は、メモ編集開始ボタンが表示されます。

同じマップで他の利用者がメモを編集している場合は、メッセージが表示され編集メモを編集することはできません。

・メモ描画画面



「全体を表示」リンクをクリックすることで、メモの図形全体の範囲を地図上に表示します。

「一覧表示」リンクをクリックすると、メモの図形の一覧が表示されます。

「メモ編集開始」ボタンを押すことで、メモ編集画面が表示されます。

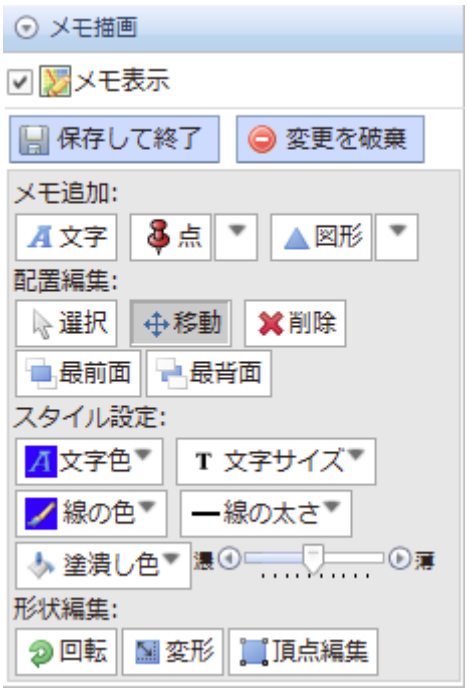
編集後に「保存して終了」ボタンを押すことで、編集内容が地図に保存されます。

「変更を破棄」ボタンを押すと、編集中のメモは破棄されて、編集前のメモの状態に戻ります。

編集中は、他のユーザがメモを編集することはできません。

メモ編集開始後は「保存して終了」または「変更を破棄」を押すか、ブラウザを閉じた後 30 秒後まで編集ができない状態になります。

・メモ編集画面



・メモ追加

文字 ボタン選択後、地図画面をクリックするとその位置に文字を追加します。

表示する文字は途中で改行することが可能です。

文字入力欄以外の部分をクリックすることで文字の入力が完了し、メモが追加されます。

追加した文字の変更 選択 はボタン選択後、文字をダブルクリックして行います。

点 ボタン選択後、地図画面をクリックするとその位置にアイコンを追加します。

ボタンを押すことで追加するアイコンの種類を選択することができます。

図形 ボタン選択後、地図画面に図形を描画することができます。

ボタンを押すことで図形の種類を以下選択することができます。



三角選択時、地図画面上をドラッグすることで、始点を中心にした正三角形を描画します。

四角選択時、地図画面上をドラッグすることで、始点を中心にした正方形を描画します。

円選択時、地図画面上をドラッグすることで、始点を中心にした円(24 角形)を描画します。

線選択時、地図画面上でクリックして線を描画します。ダブルクリックで線の描画か完了します。

面選択時、地図画面上でクリックして面を描画します。ダブルクリックで面の描画か完了します。

・配置編集



ボタン選択後、地図画面上のメモをクリックまたは、地図画面上をドラッグすることで、メモを選択状態にすることができます。
選択されたメモは、削除、最前面、最背面、文字色、文字サイズ、線の色、線の太さ、塗潰し色、塗潰し透明度、を変更することができます。



ボタン選択後、地図画面上のメモをドラッグして移動することができます。

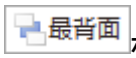
移動できるメモは、1つのみで、選択ボタンで複数選択されている場合は解除され、クリックしたメモが選択されます。



ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されているメモを削除することができます。
このボタンを選択後、地図画面上のメモをクリックすることで、メモを削除することができます。

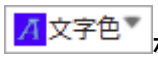


ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されているメモを最前面に表示することができます。

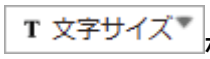


ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されているメモを最背面に表示することができます。

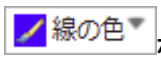
・スタイル設定



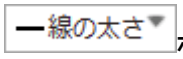
ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されている文字形状のメモの文字色を変更することができます。



ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されている文字形状のメモの文字サイズを変更することができます。



ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されている図形形状のメモの線の色を変更することができます。



ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されている図形形状のメモの線の太さを変更することができます。



ボタンをメモが選択された状態で押すことで、選択されている図形形状のメモの塗潰しの色を変更することができます。



のスライダーをメモが選択された状態で変更することで、選択されている図形形状のメモの塗り潰しの透明度を変更することができます。

・形状編集



ボタン選択後、地図画面上の図形形状のメモをクリックすることで回転操作状態にし、


を地図上でドラッグすることで回転を行うことができます。

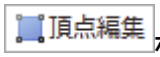
回転できるメモは、1つのみで、選択ボタンで複数選択されている場合は解除され、クリックしたメモが選択されます。



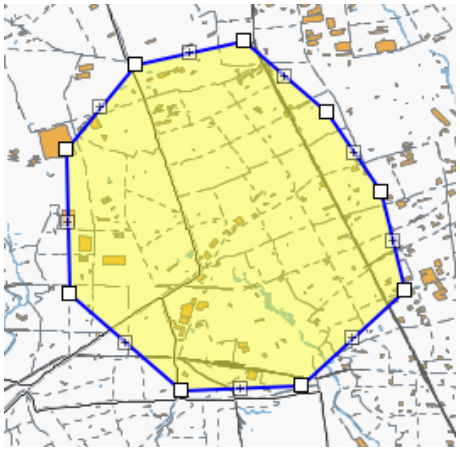
ボタン選択後、地図画面上の図形形状のメモをクリックすることで変形操作状態にし、


を地図上でドラッグすることで変形を行うことができます。

変形できるメモは、1つのみで、選択ボタンで複数選択されている場合は解除され、クリックしたメモが選択されます。



ボタン選択後、地図画面上の図形形状のメモをクリックすることで頂点編集操作状態にして、地図上で頂点をドラッグすることで図形の頂点の変形を行うことができます。
頂点編集できるメモは、1つのみで、選択ボタンで複数選択されている場合は解除され、クリックしたメモが選択されます。



頂点編集操作状態では以下の操作が可能です。

□　をドラッグすることで頂点を移動することができます。

⊞　をドラッグすることで新しい頂点を追加することができます。

□　上にマウスを置き Delete キーを押すことで、頂点を削除することができます。

⑥ サイドバー

マップに関する様々な情報を参照したり、距離や面積の計測、登録情報の検索など、様々な機能を利用したりできます。以下にそれぞれの機能の詳細を示します。

・広域図

現在表示中のマップの範囲を示します。広域図の中心にある赤い枠が、現在表示中の範囲を表しています。広域図の背景図をドラッグすることで、表示範囲を移動することができます。



地図表示範囲
地図画面で表示されている範囲が合い赤い枠で表示されます

・地図情報

マップに関する各種情報を参照することができます。



地図の説明
あらかじめ設定されたマップの説明文章が表示されます。

更新情報
クリックすると、別ウィンドウでマップの登録情報の更新情報 GeoRSS が表示されます。

携帯電話用マップ
携帯電話またはスマートフォン用の地図画面を表示するための URL の二次元バーコード画像です。
携帯電話の QR コード読み取りアプリケーションを起動し、この画像をカメラで写すと、携帯用の地図画面を起動することができます。

メールで送る
携帯電話・スマートフォン用の URL をメールで送信します

・地図ブックマーク

地図の表示位置や表示項目を保存した、ブックマークの一覧を表示します。

地図のブックマークは地図に対して保存され、他の利用者にも共有されます。

名称を入力して「追加」ボタンを押すことで、現在の表示状態を地図ブックマークに追加することができます。

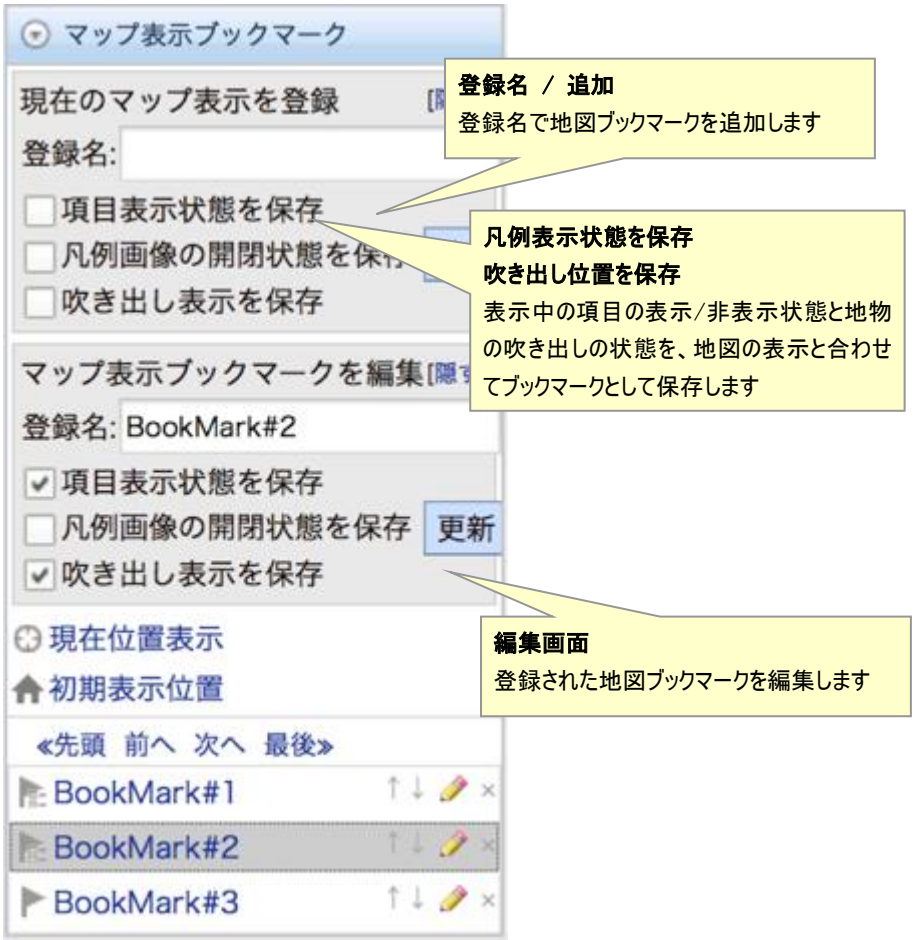
現在位置表示は Web ブラウザの現時位置取得機能を利用して、現在の位置を地図で表示します。

初期位置表示は地図起動時の初期位置を表示します。

先頭、前へ、次へ、最後ではマップ表示ブックマークの一覧の順で表示を切り替えることができます。

追加したブックマークの右側の「↑ ↓」のリンクから順番の変更、「×」で削除することできます。

をクリックすると編集画面が表示され、登録したブックマークの設定を編集しなおすことができます。



・距離面積計測

地図上でのマウス操作によって、距離・面積を計測します。距離計測または面積計測を選択し

た後、地図画面をクリックすることで順次図形の頂点が作図され、作図された図形の総距離または図形で囲まれる面積が計測されます。

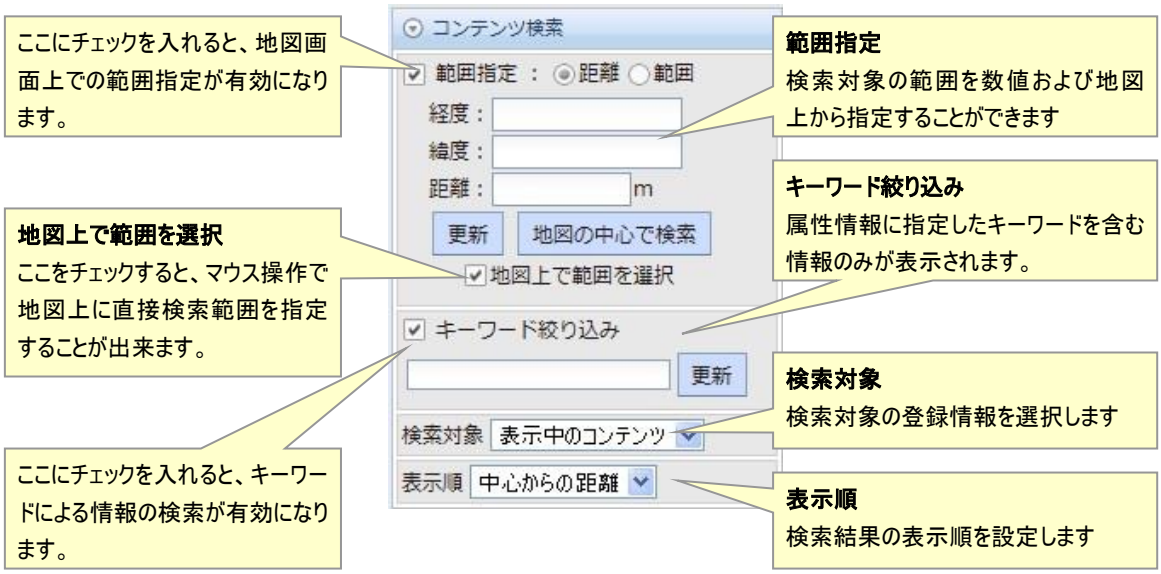




・登録情報検索

登録情報を検索し、一覧表示することができます。初期状態では、地図画面に表示中の情報をすべて表示します。

検索に於いては、地図画面上での空間的な範囲検索と、登録情報に含まれるキーワード指定が可能です。それらを両方組み合わせることもできます。





検索を行う情報（項目）の種類を選択します。現在表示中の項目に含まれる全ての情報を検索するか、または任意の項目から検索するか選択できます。

表示順
検索結果をリスト表示する際の、情報の並び順を指定します。

検索結果
検索結果が 10 件ずつ表示されます
クリックすることで地図上でポップアップ表示されます

⑦ ツールバー

地図に関する操作を行うためのボタンなどを表示するツールバーです。



・マップ保存 

マップの表示範囲や凡例の表示状態、および MGRS グリッド表示状態を保存し、次回表示時に保存した状態でマップを表示することができます。

・2 画面表示ボタン 



地図画面を二画面に分割し、左右で違う地図を連動させて閲覧する事ができます。

管理画面で設定された他のマップ、主題図画像、背景地図、Google マップ、Yahoo! Japan マップを右側に表示することができます。

「ワイプ画面モード」をチェックすると左右2画面表示ではなく、元の地図画面の上に選択した地図を重ねて表示することができます。

・地図追加ボタン 

地図追加ダイアログを表示し、参照地図または背景図に、新たな地図を追加します。

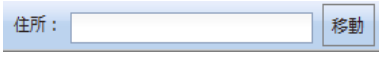
KML レイヤの追加も行うことができます。

・印刷ボタン 

印刷ダイアログを表示し、表示中の地図、凡例、登録情報の一覧を印刷するための PDF ファイルを出力します。

・情報一覧ボタン 

情報一覧画面を表示し、登録情報の一覧の表示や一括登録をすることができます。

・住所検索フォーム 

任意の住所を入力することで、地図表示位置を移動することができます。
MGRS コードを入力すると、その MGRS グリッドの中心位置へ移動することができます。
緯度経度を入力すると、その位置へ移動することができます。

緯度経度の入力形式例

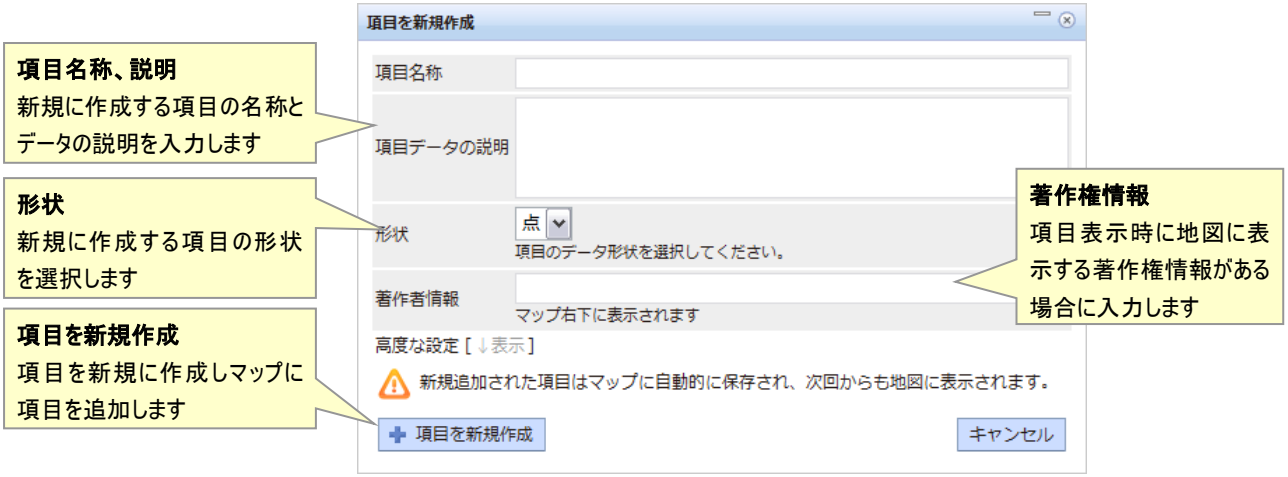
134.12345 35.12345（数字のみの場合は、経度 緯度の順とみなす）
E134.12345 N35.12345
E134’10”20 N35’30”40
東経 134.12345 北緯 35.12345
東経 134 度 10 分 20 秒 北緯 35 度 30 分 40 秒

住所部分を押下すると、地図の中心位置の住所が表示されます。

⑧ 項目追加ダイアログ

・項目新規作成ダイアログ

項目を新規作成し、マップに追加するためのダイアログ画面です。



・項目追加ダイアログ

マップに作成済みの項目を追加するためのダイアログ画面です。




作成済み項目一覧
このマップに含まれる項目を全選択、全解除します。
項目一覧
項目一覧（マップ別）
凡例
項目名
作成日時 / 形状
追加
サイト全体
地図１（GoogleMap）
マップ内の項目を追加
項目テスト１
2013/09/25 14:06:54
POINT
追加
項目テスト４
2013/09/25 14:08:04
POINT
追加
B課の項目１
2013/10/10 10:23:20
POINT
追加
項目テスト４のコピー
2013/10/21 17:17:00
POINT
追加
ｄｄｄ
2013/10/04 14:26:44
POINT
追加
地図（OSM）
マップ内の項目を追加
ｄｄｄ
2013/10/04 14:26:44
POINT
追加
４３４３４
2013/10/04 14:27:21
POINT
追加
地図（電子国土）
マップ内の項目を追加
閉じる
マップ内の項目を追加
このマップに含まれる項目を一括で追加します。

・Shape ファイル設定ダイアログ

アップロードされた Shape ファイルの設定と、新規に作成される項目の情報を入力するダイアログ画面です。



項目名称、説明
新規に作成する項目の名称とデータの説明を入力します

著作権情報
項目表示時に地図に表示する著作権情報がある場合に入力します

座標系
Shape ファイルの座標系を選択します。

属性確認
登録する属性の選択、属性名の編集を行います。

登録開始
新規に項目を作成し、アップロードした Shape ファイルを入力します。

⑨ 属性設定ダイアログ

・属性一覧ダイアログ

項目内の属性の一覧を表示するダイアログです。属性の並び替えが可能です。



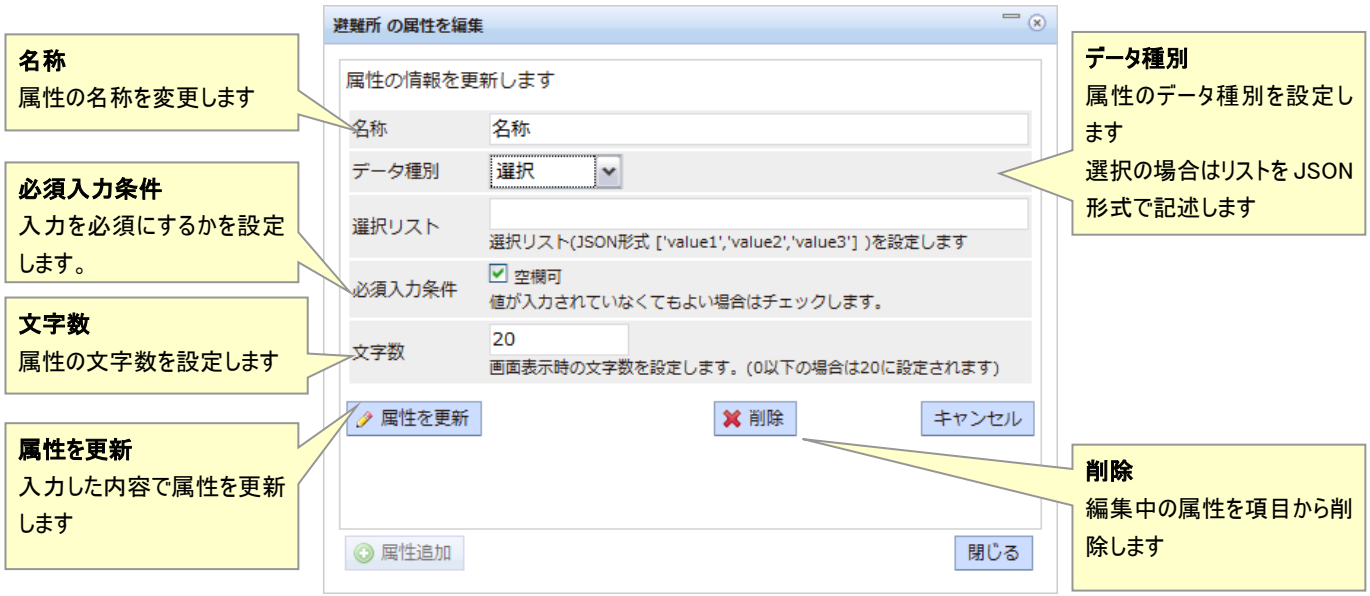
・属性追加ダイアログ

項目への属性の追加および、追加済み属性の設定行うダイアログです。



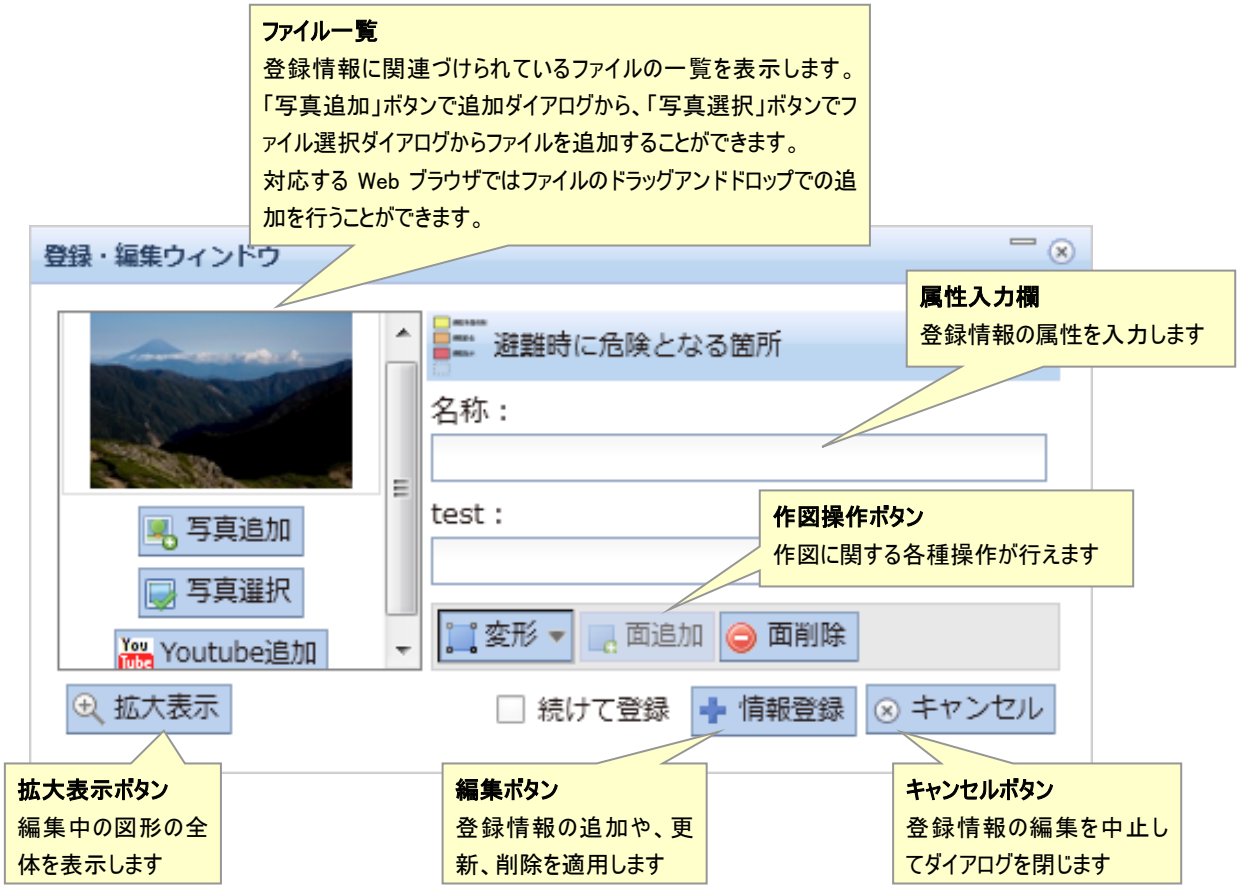
・属性編集ダイアログ

項目への属性の追加および、追加済み属性の設定行うダイアログです。



⑩　登録情報編集ダイアログ

登録情報の追加、または編集を行うためのダイアログ画面です。



・登録情報の地図上での編集（点の編集）

登録情報の種類が点の場合、地図画面をクリックすることで新規に点を指定できます。また、既存の点をドラッグすることで、位置を変更できます。



・登録情報の地図上での編集（線、面の追加・編集）

登録情報の種類が線または面の場合、地図画面をクリックすることで順次頂点を追加し、新規に線または面を指定できます。なお、Shift キーを押しながら地図画面をドラッグすると、自由描画ができます。移動： 作図済みの図形をマウスドラッグで移動します

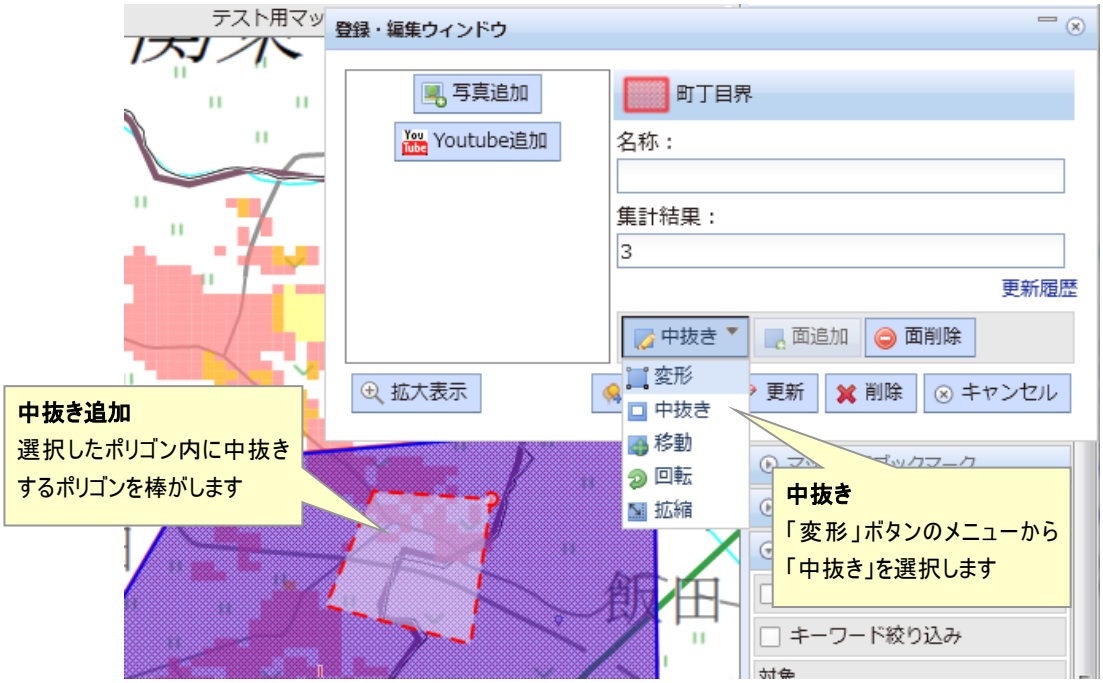




「変形」ボタンをクリックすることで、線または面の変形ができます。線の中間にある□をドラッグすると新たな頂点を追加することができます。また、作成済みの頂点（赤矢印）をドラッグすると、頂点を移動することができます。赤矢印にマウスカーソルを合わせ、Delete キーを押すと頂点を削除することができます。


コンテンツ編集
ファイル追加
検討２(Bグループ)
期間開始：
期間終了：
移動
変形
面追加
図形確定
面削除
表示
新規追加
キャンセル
検討１(Aグループ)
藤沢市テストマップ
JR相模線
線/面の編集
作図済みの図形の頂点はマウスでドラッグすることで変形できます
赤矢印上にマウスを置いて Delete キーを押すことで頂点を削除できます
線/面の頂点の追加
線の中点の四角いアイコンをマウスでドラッグすることで、線/面の頂点を追加することができます

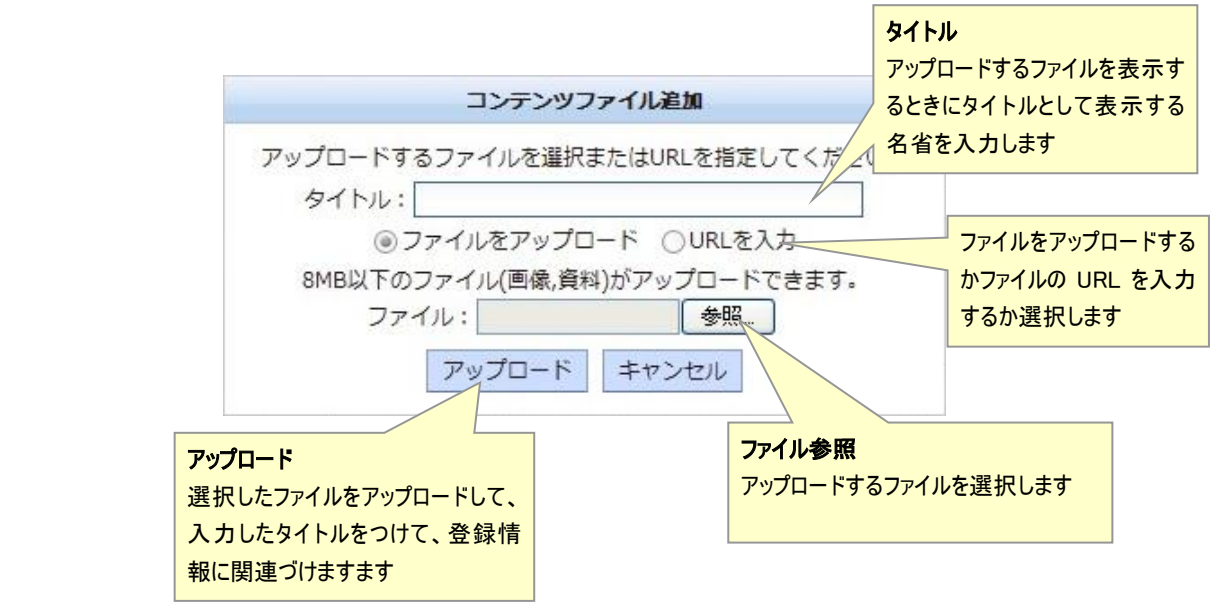
ポリゴン編集時は「変形」ボタンメニューから「中抜き」を選択することで、ポリゴンの中抜きを追加することができます。 マルチポリゴンの場合は、中抜きするポリゴンを選択する必要があります。

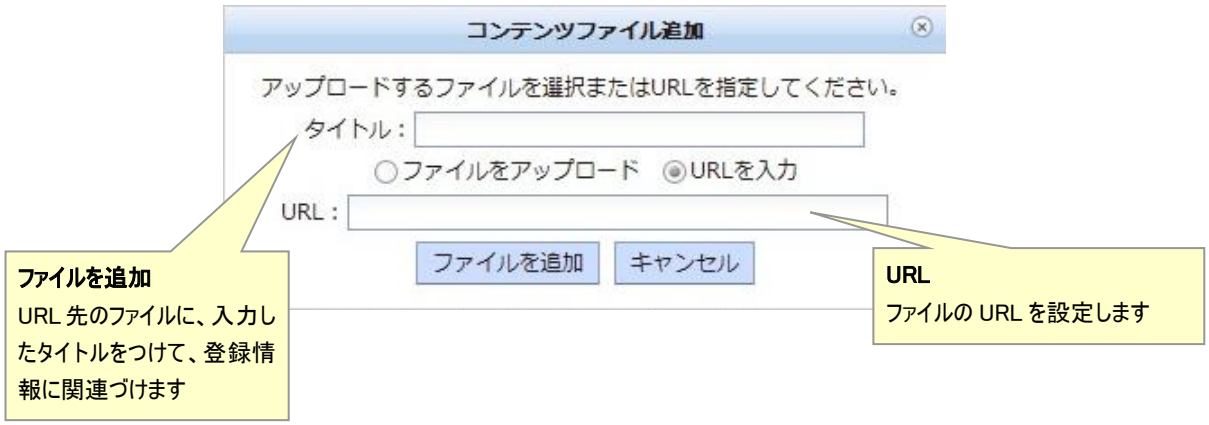


⑪ ファイル追加ダイアログ

登録情報の新規追加または編集時に、関連するファイルを追加することができます。追加したファイルは、登録情報の属性と共に表示されます。

ファイルの追加方法には、ファイルのアップロードと、ファイル URL の指定の二通りがあります。





⑫ ファイル選択ダイアログ

登録情報の新規追加または編集時に、地図内のレイヤに関連づけられたファイルを一覧から選択して追加することができます。追加したファイルは、登録情報の属性と共に表示されます。

レイヤを選択することでそのレイヤ内の地物に関連づけられたファイル一覧が表示されます。

ファイルの一覧は地図の中心に近い順および登録日時の順で並び替えて表示することができます。



⑬ 地図追加ダイアログ

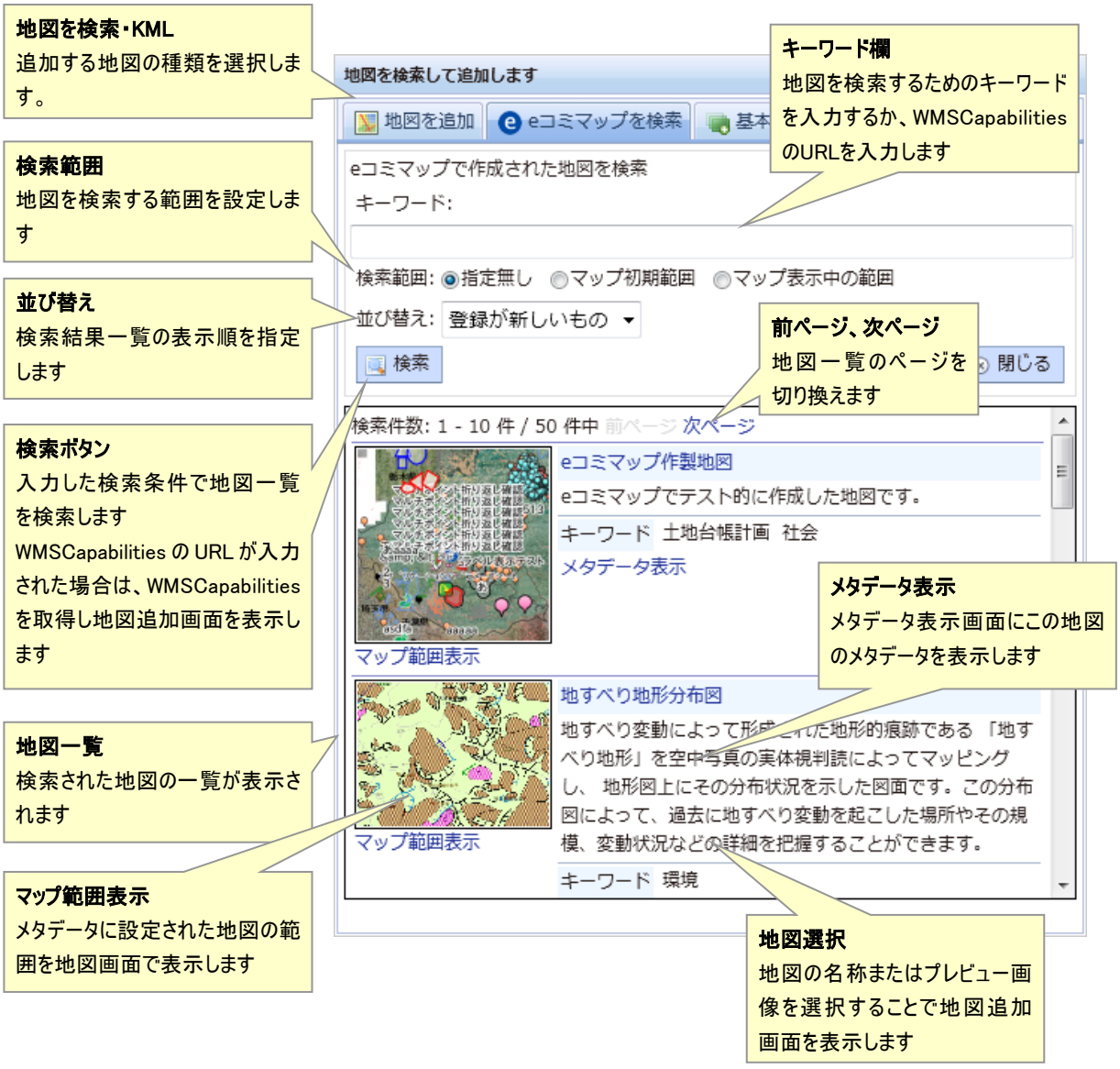
相互運用サーバ上にある地図データを、クリアリングハウス（防災科学技術研究所が開発している災害リスク情報クリアリングハウスとの連携機能）を検索または WMS 接続情報を元に、表示中の地図に追加をするためのダイアログ画面です。

キーワード、空間的範囲の条件で相互運用可能な地図を検索します。

WMS サーバの情報(WMSCapabilities)の URL が分かる場合は、その URL をキーワード欄に入力することで、地図の追加ができます。

・地図追加ダイアログ 地図一覧画面

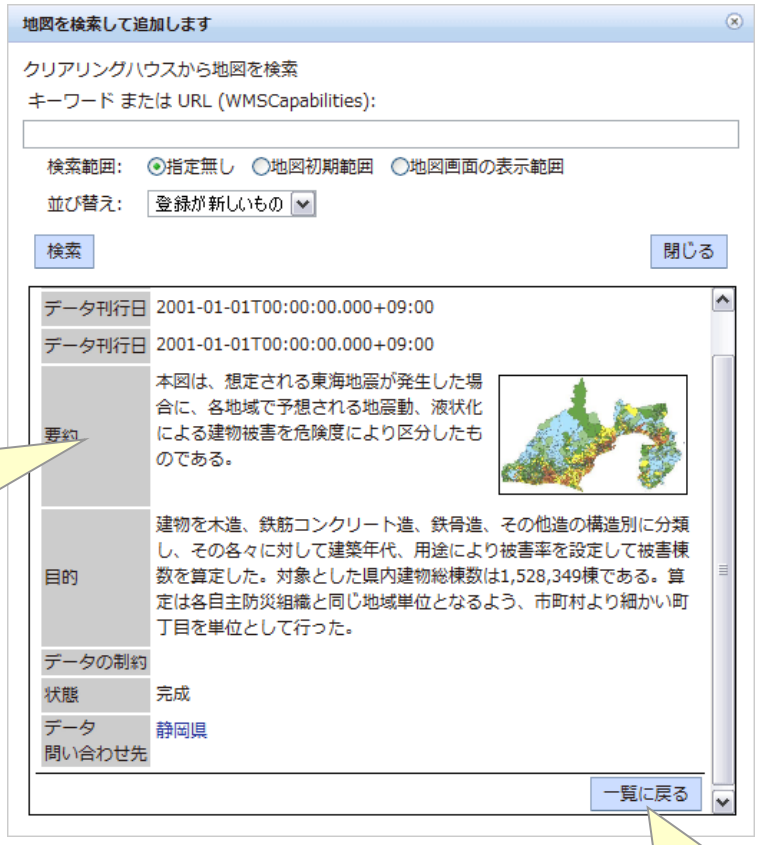
クリアリングハウスで地図を検索した結果の地図一覧を表示します。



・地図追加ダイアログ　メタデータ表示画面

地図一覧で選択した地図のメタデータを表示します。

防災科学技術研究所が開発している災害リスク情報クリアリングハウスとの連携機能です。



メタデータ
クリアリングハウスから取得した地図のメタデータのうち主な項目を抜粋した物を表示します

一覧に戻る
地図一覧画面に戻ります

・地図追加ダイアログ 地図追加画面

地図一覧で選択した地図をマップの項目に追加します。



・地図追加ダイアログ　e コミマップを検索

e コミマップ登録用のクリアリングハウスが設定されている場合は、登録されている e コミマップを検索することができます。

地図への追加手順は「地図を追加」と同じです。



・地図追加ダイアログ 基本地図追加

サイト内のデフォルトレイヤとして登録されている基本地図項目を地図画面に追加することができます。

追加したい基本地図項目の「登録」ボタンを押すことで地図画面の基本地図に追加され、地図の表示が切り替わります。

電子国土は国土地理院への届出の必要性について規約等の文章へのリンクが表示されます。



・地図追加ダイアログ KML

外部の KML をマップの項目に追加します。

KML の URL を指定欄に KML ファイルの URL を入力して、「KML 情報取得」ボタンを押すことで、取得した KML ファイルの情報が KML 情報欄に表示されます。

KML 情報欄の「KML 追加」ボタンを押すことで、KML ファイルがマップの項目として追加されます。

KML 情報欄では、名称、説明、更新間隔を設定することができます。



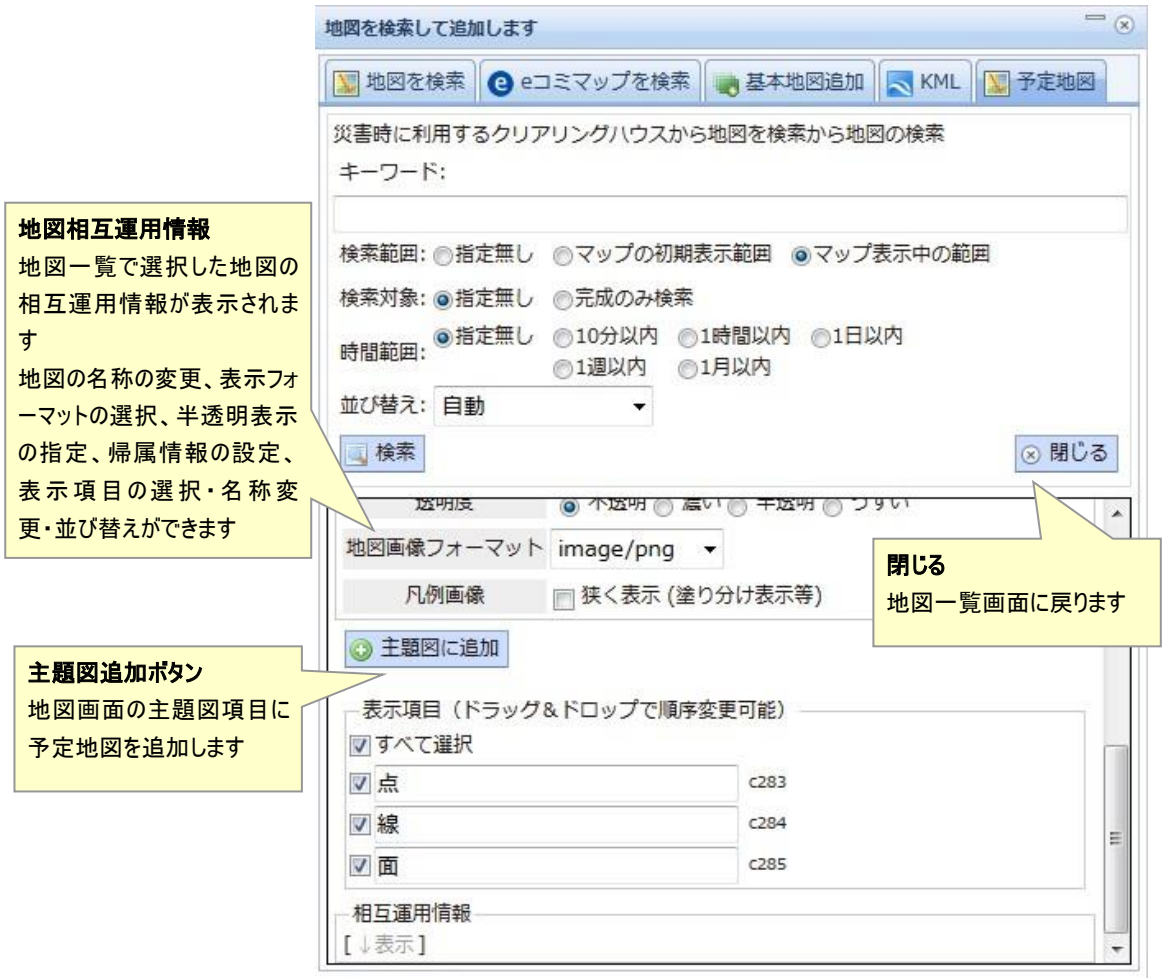
・地図追加ダイアログ 予定地図一覧画面

災害時クリアリングハウスで地図を検索した結果の地図一覧を表示します。



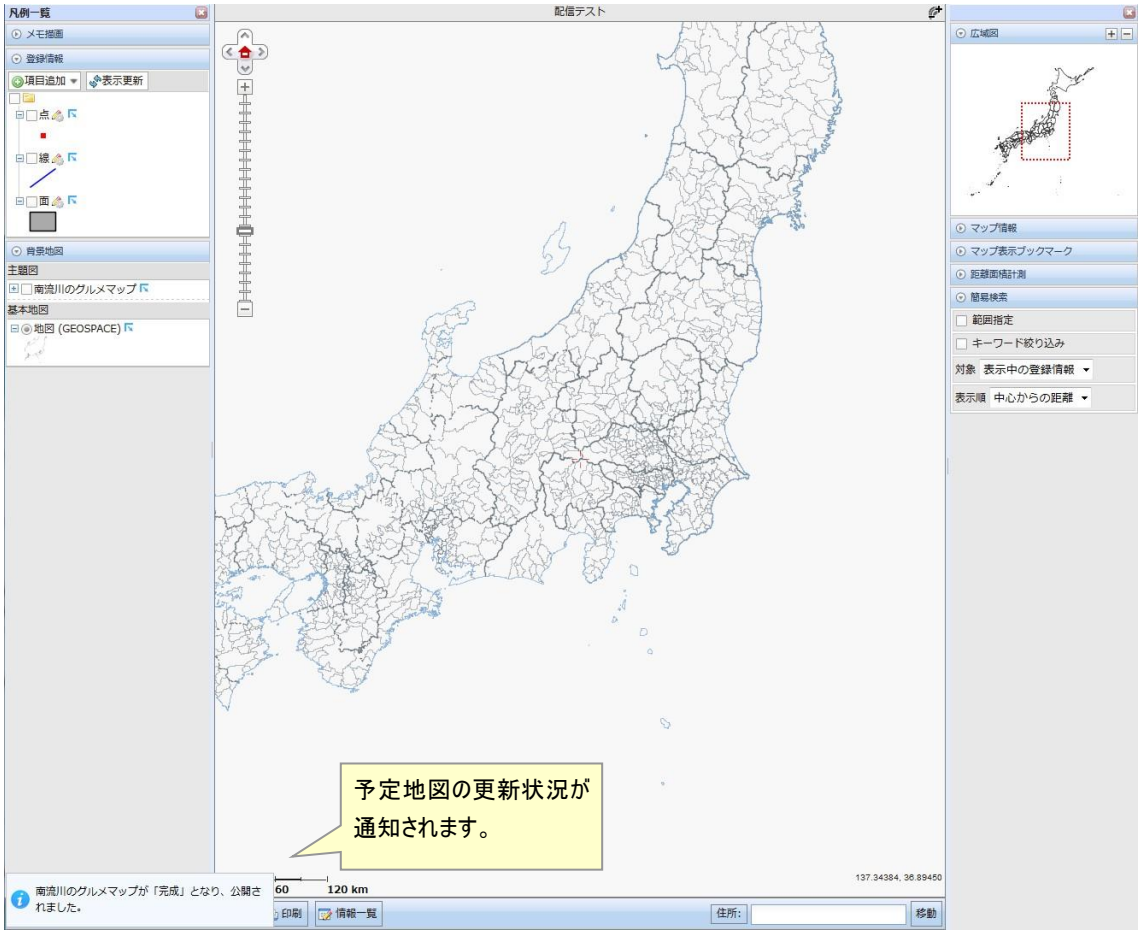
・地図追加ダイアログ 予定地図追加画面

地図一覧で選択した予定地図をマップの主題図項目に追加します。



・予定地図更新通知

定期的に予定地図のメタデータの更新を確認します。予定地図のメタデータの地図の作成状況が更新された場合、地図画面の左下に通知が表示されます。



⑭ 印刷ダイアログ

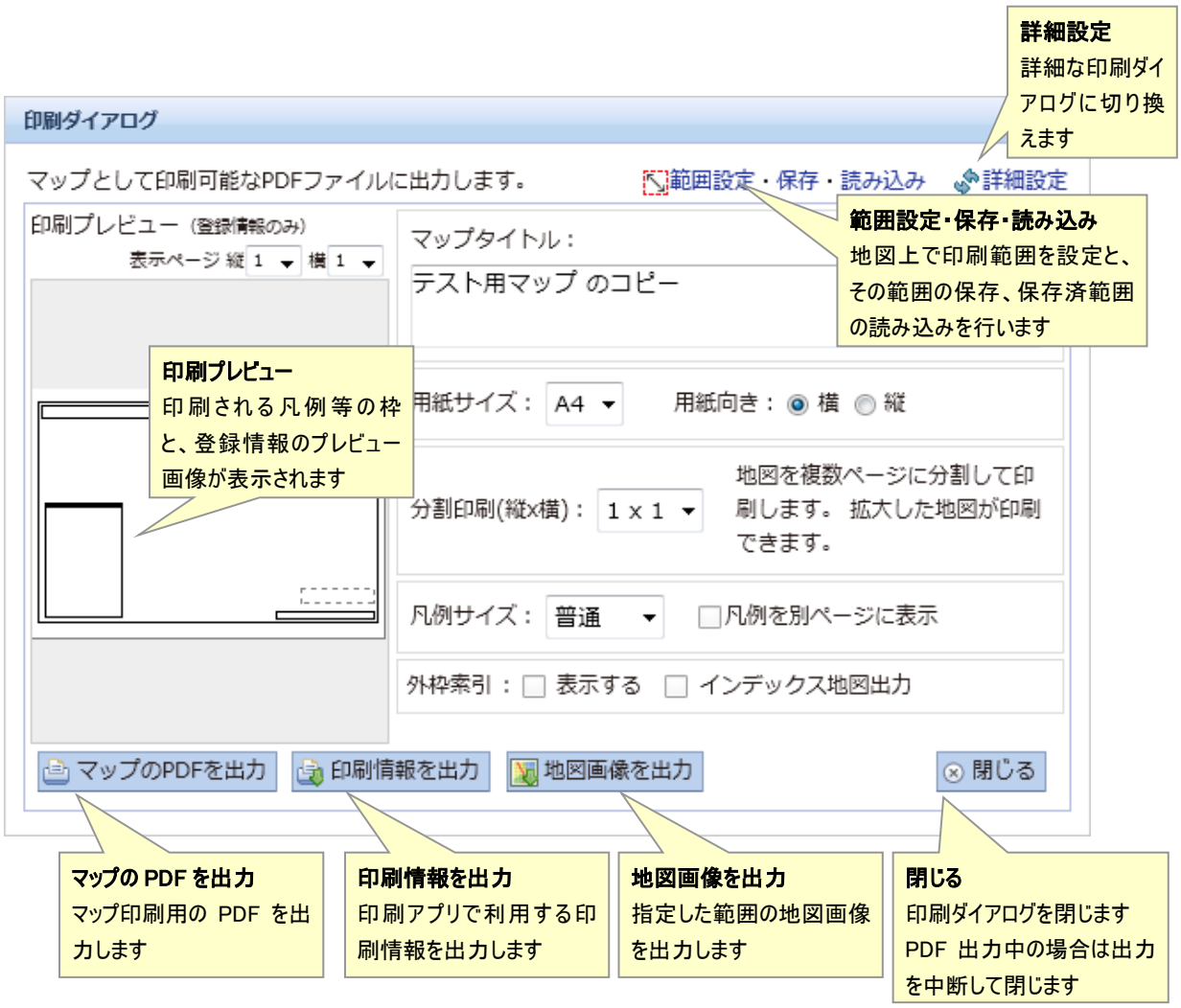
防災マップを印刷するための画面です。ここから印刷用の PDF ファイルを作成することができます。

この画面から直接プリンタを使った印刷を行うことはできません。PDF ファイルを作成し、それを別途 PDF 閲覧ソフトなどで開いてプリンタで印刷を行ってください。

・簡易印刷ダイアログ

簡単な設定で印刷を行うためのダイアログ画面です。

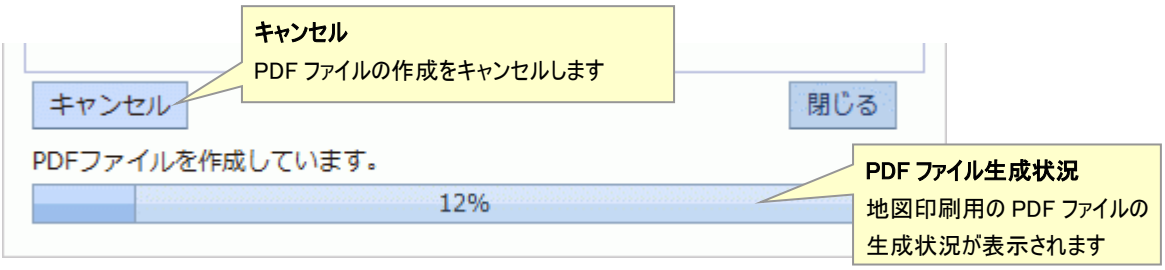
右上の詳細設定を押すことで、詳細な印刷ダイアログ画面に切り換えることができます。



印刷状況

地図の PDF を出力するとサーバ側での PDF 生成状況が表示されます。

100%になったら PDF ファイルがダウンロードされます。

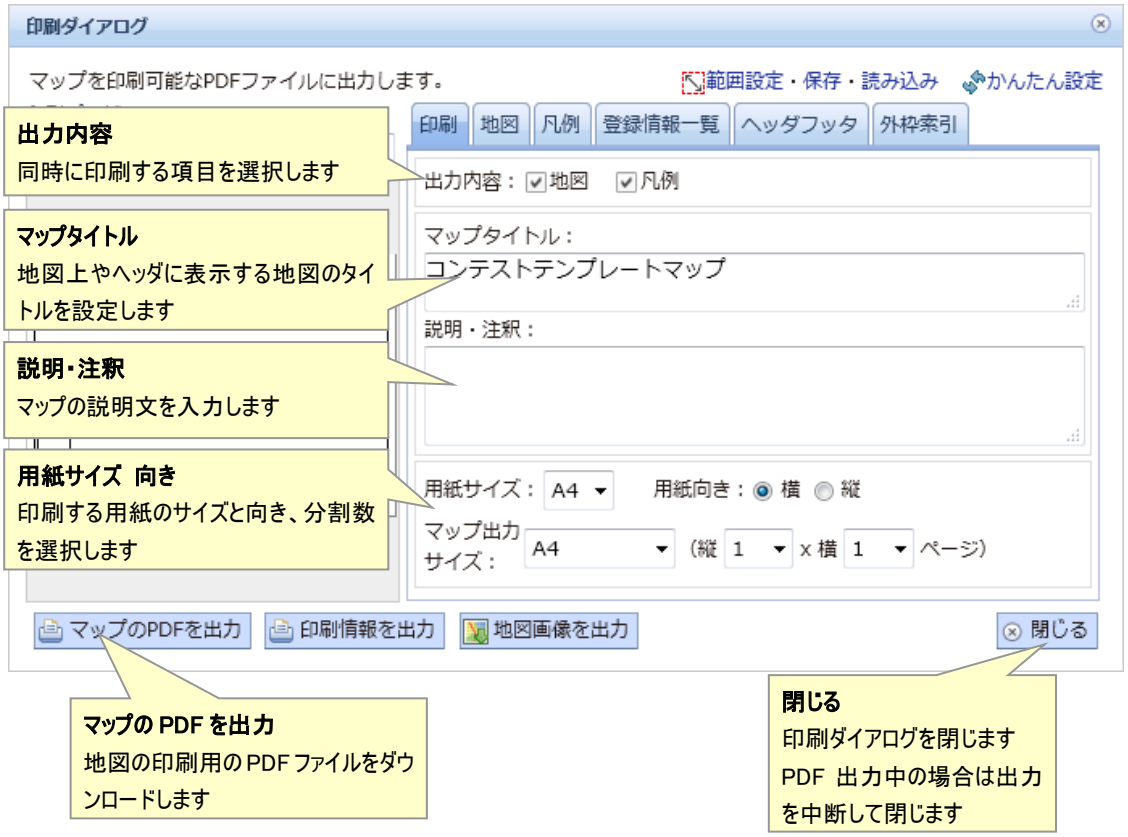


・詳細印刷ダイアログ

詳細印刷ダイアログで印刷の設定を行い、「地図の PDF を出力」ボタンを押すことで印刷用 PDF ファイルが出力されます。

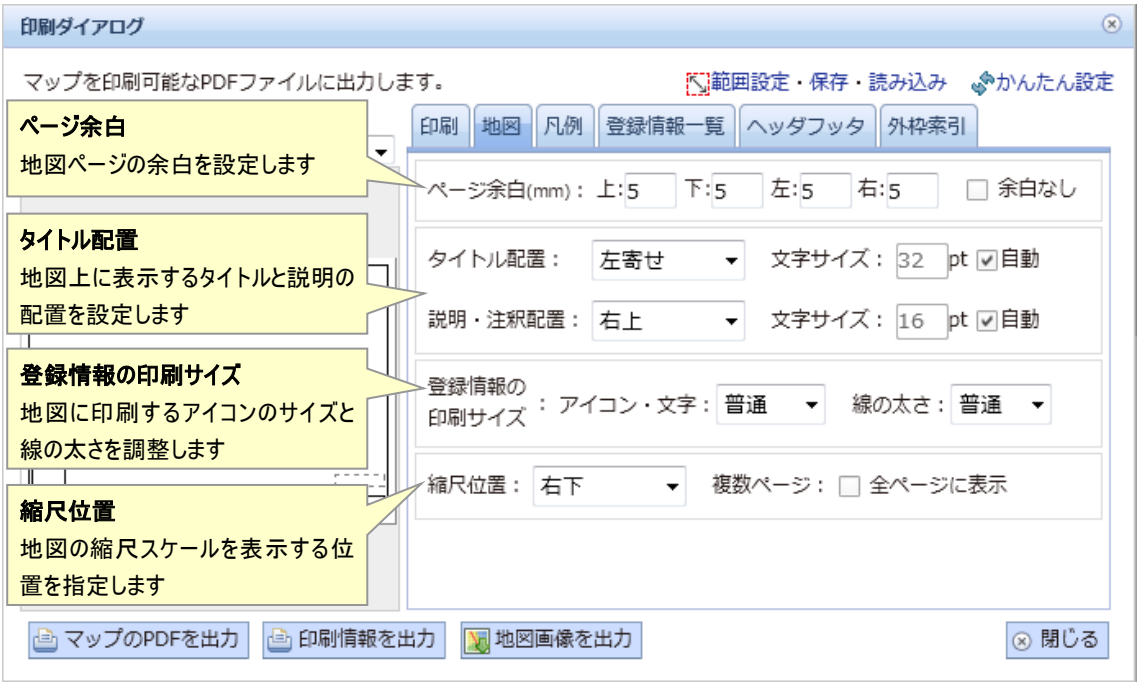
地図印刷タブ

基本的な印刷の設定を行う画面です。



地図タブ

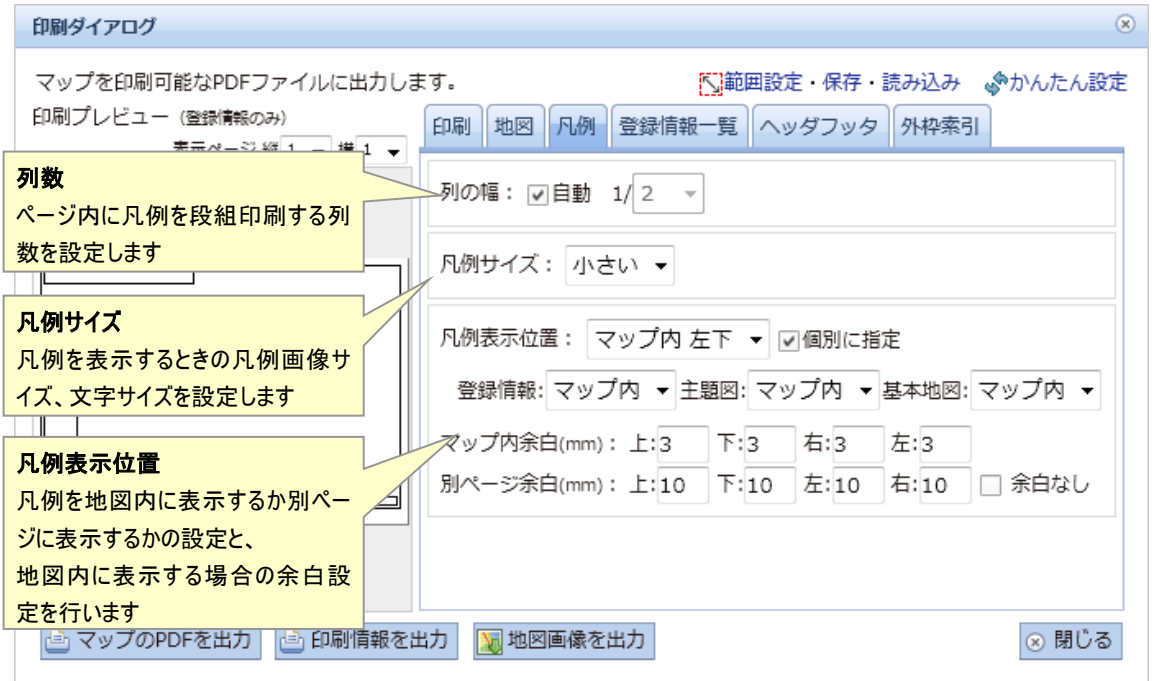
地図を PDF 出力するための、余白やページ分割の設定を行うタブ画面です。



凡例タブ

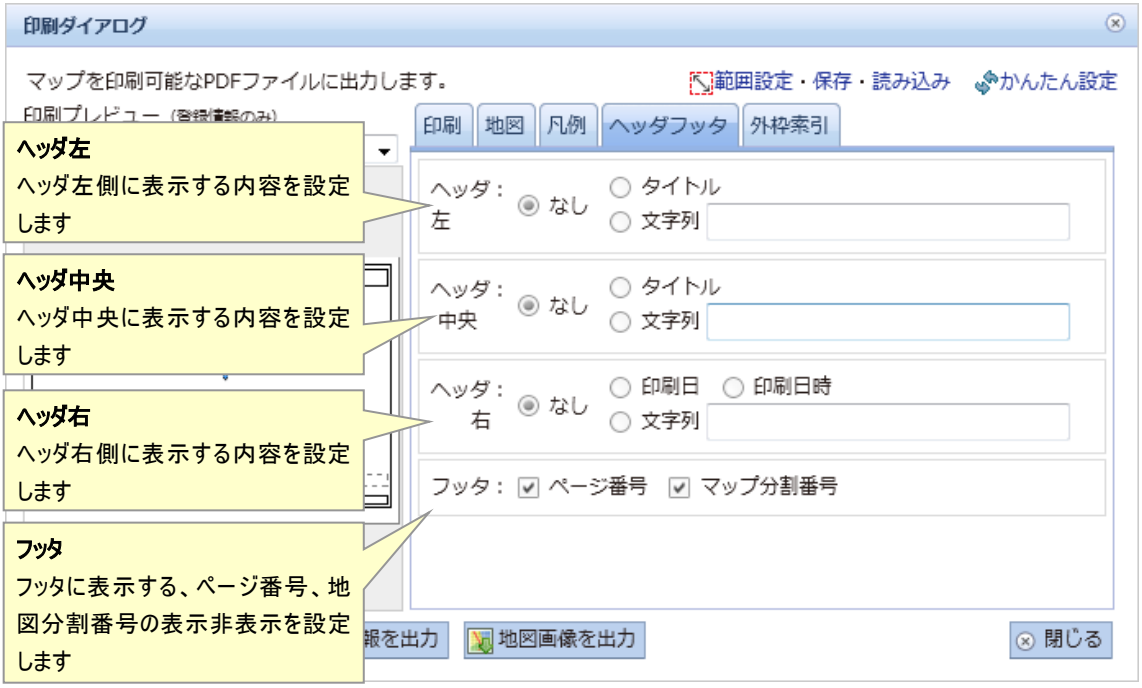
凡例の印刷の設定を行います。

別ページに印刷するか、地図内に印刷するかの設定を行うタブ画面です。



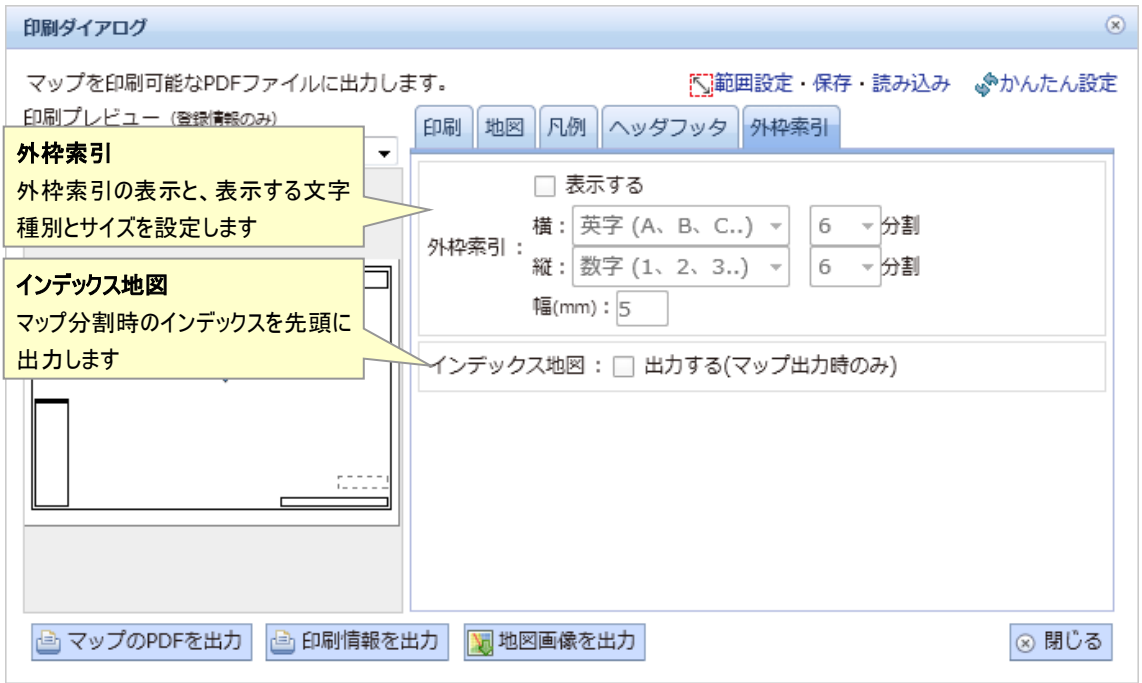
ヘッダ フッタタブ

各ページに表示するヘッダとフッタの設定を行うタブ画面です。



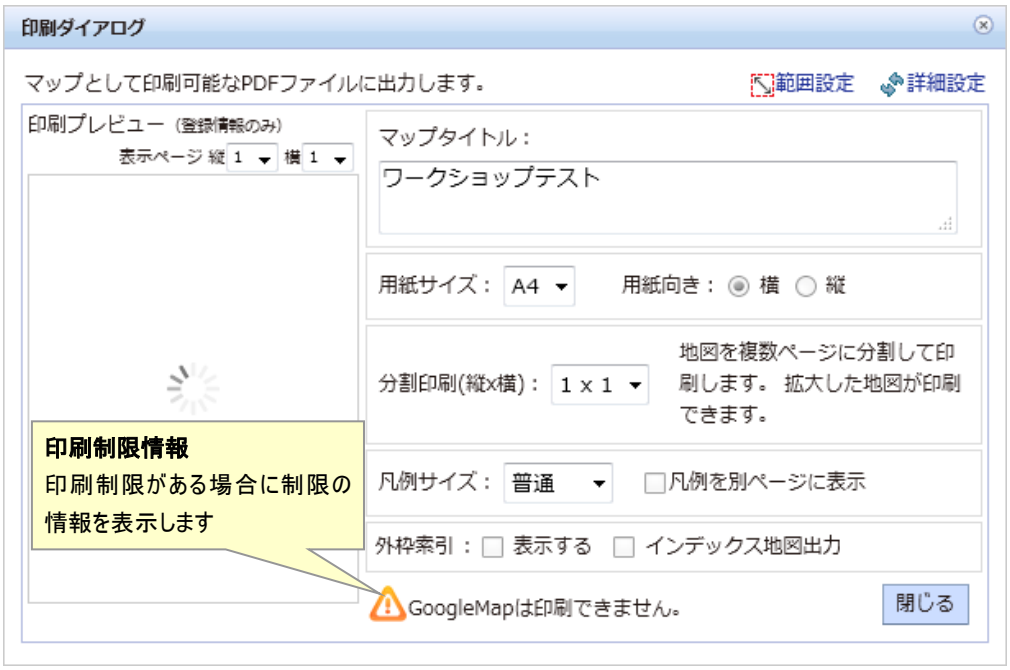
外枠索引タブ

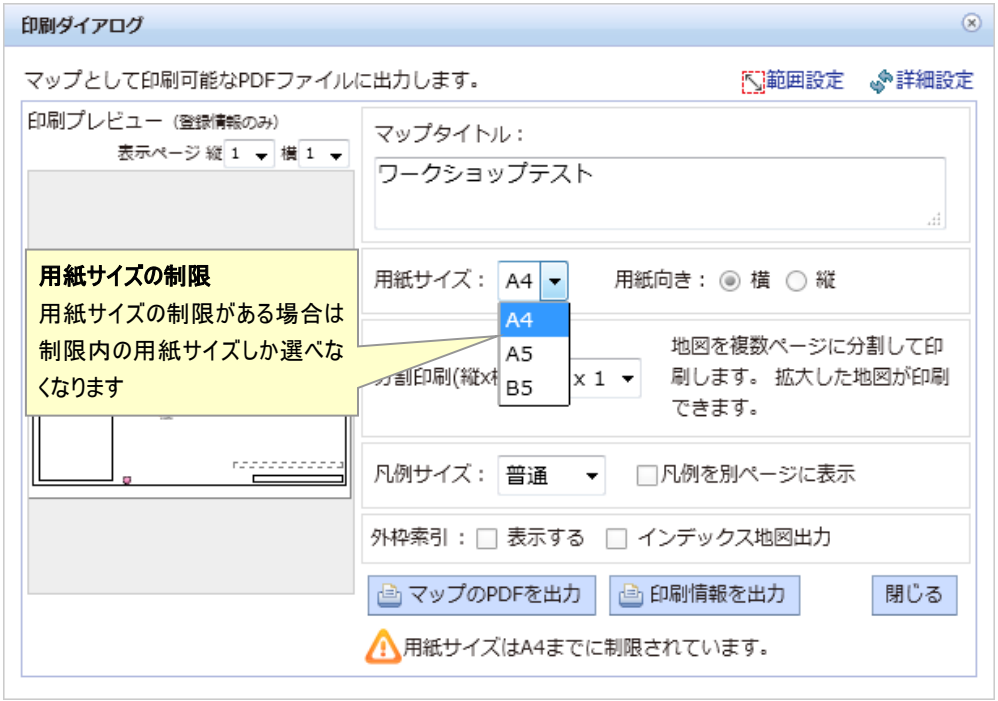
マップの外枠に表示する索引番号の設定を行うタブ画面です。



印刷制限がある場合

Google マップや電子国土 Webシステムを背景図に選択している場合は、印刷制限の情報が印刷ダイアログ下部に表示されます。

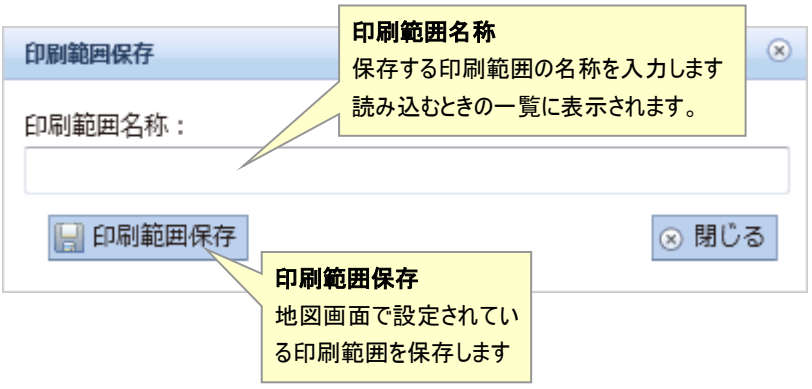




⑮ 印刷範囲保存ダイアログ

地図画面で設定されている印刷範囲と用紙の設定を、名前をつけて保存することができます。

保存した印刷範囲は、印刷範囲の読み込みで印刷範囲と用紙の設定を読み込んで印刷ダイアログの設定に再現することができます。



⑯ 印刷範囲読み込みダイアログ

印刷範囲保存ダイアログで保存された印刷範囲の一覧を表示します。

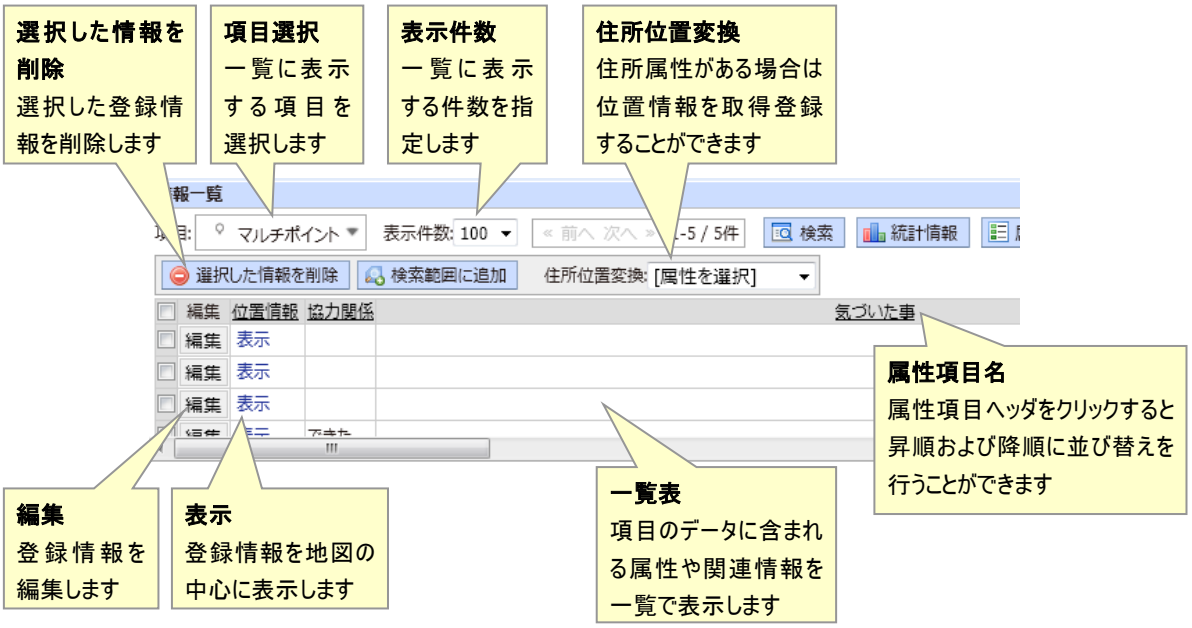
一覧から印刷範囲を選択して読み込みおよび不要な選択範囲の削除を行うことができます。

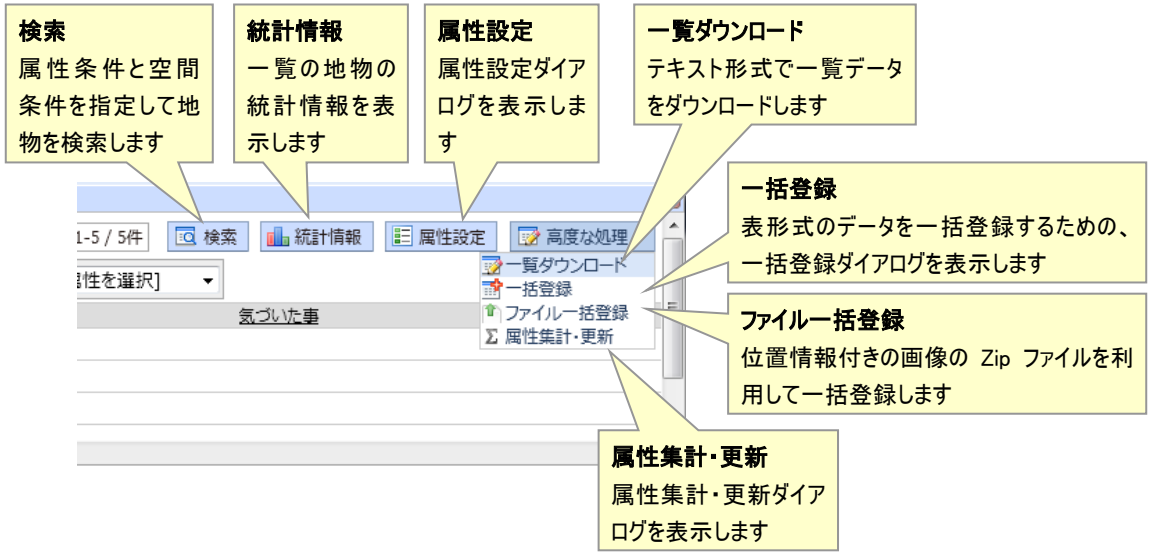


⑰ 情報一覧画面

登録情報の項目すべての属性や関連情報のデータを表形式で一覧表示し、編集、削除、住所からの位置情報取得などを一括して行えます。

また一覧データのテキスト形式または Shape 形式でダウンロードをすることができます。

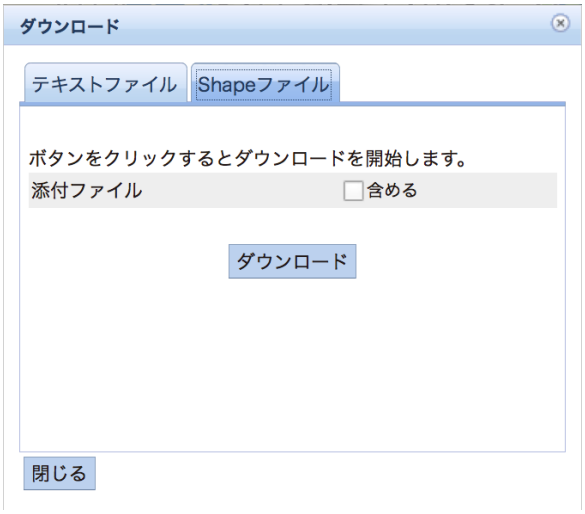




ダウンロードを行うには、下記ダイアログで設定を行った後、[ダウンロード]ボタンをクリックすることでダウンロードできます。



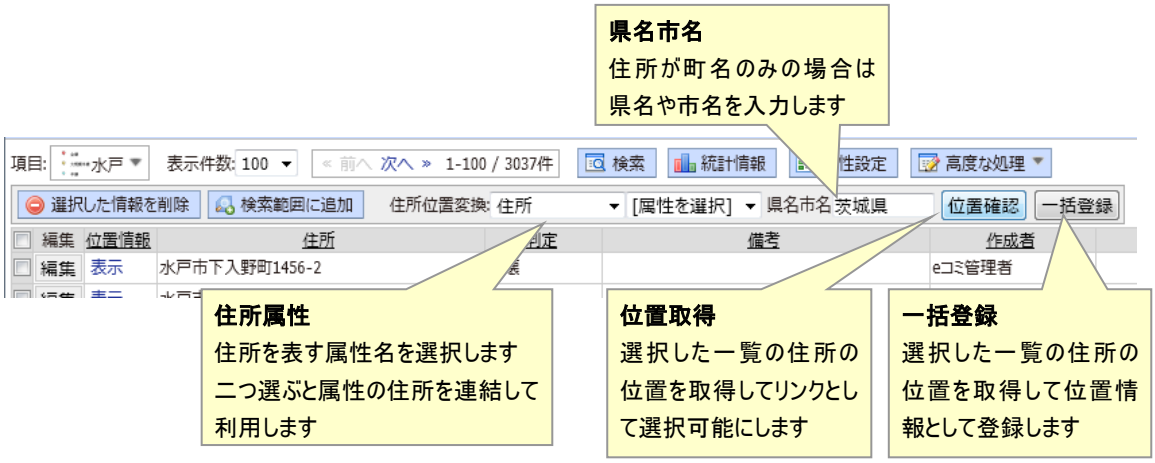
（テキスト形式の場合）



（Shape 形式の場合）

・住所位置変換

登録情報に含まれる住所属性から座標データを取得し、登録情報の位置情報として登録します。

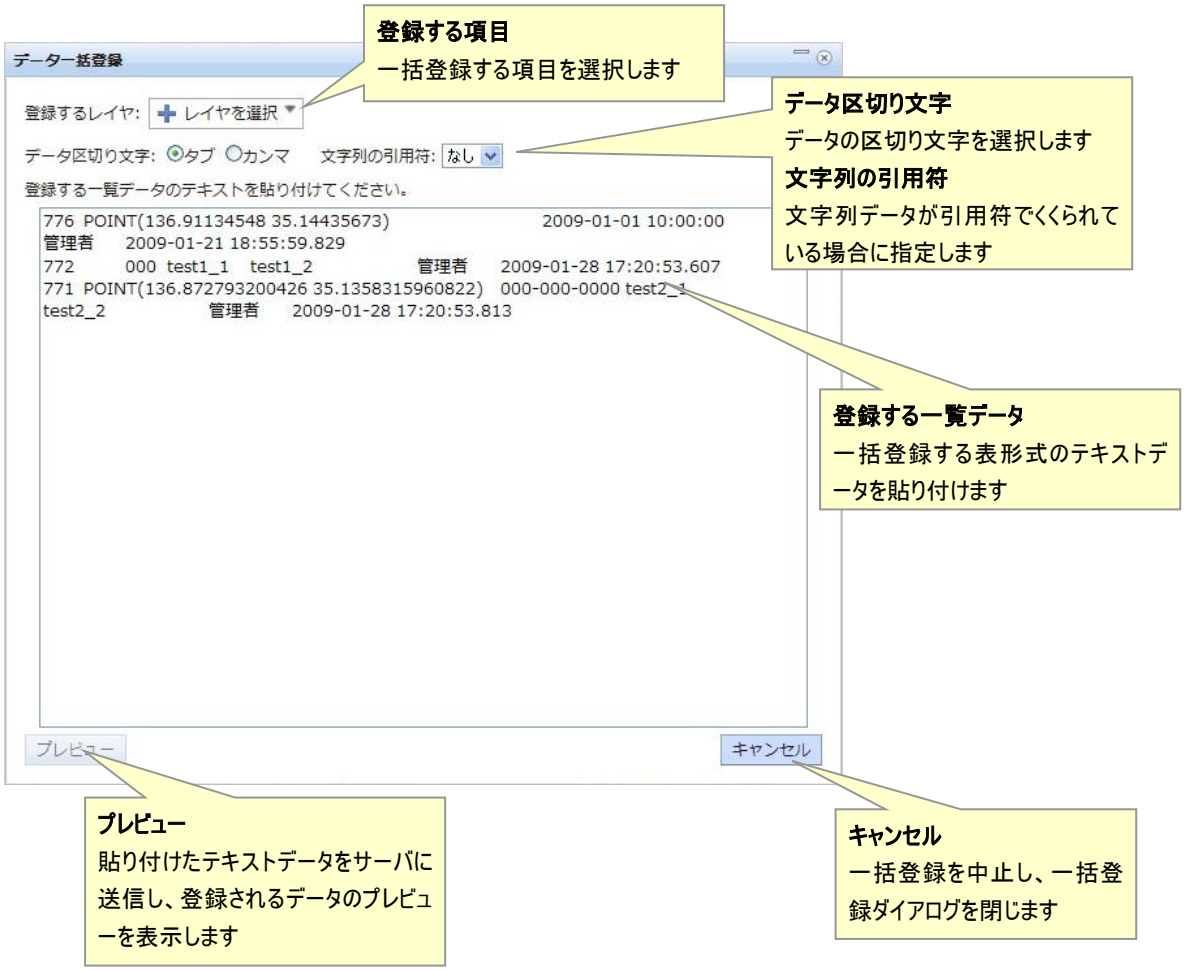


⑱ 一括登録ダイアログ

登録情報を一括して登録するための画面です。エクセル等で表示できる表形式のデータをコピー＆ペーストすることで、一度の操作で複数地点分の登録情報を登録できます。

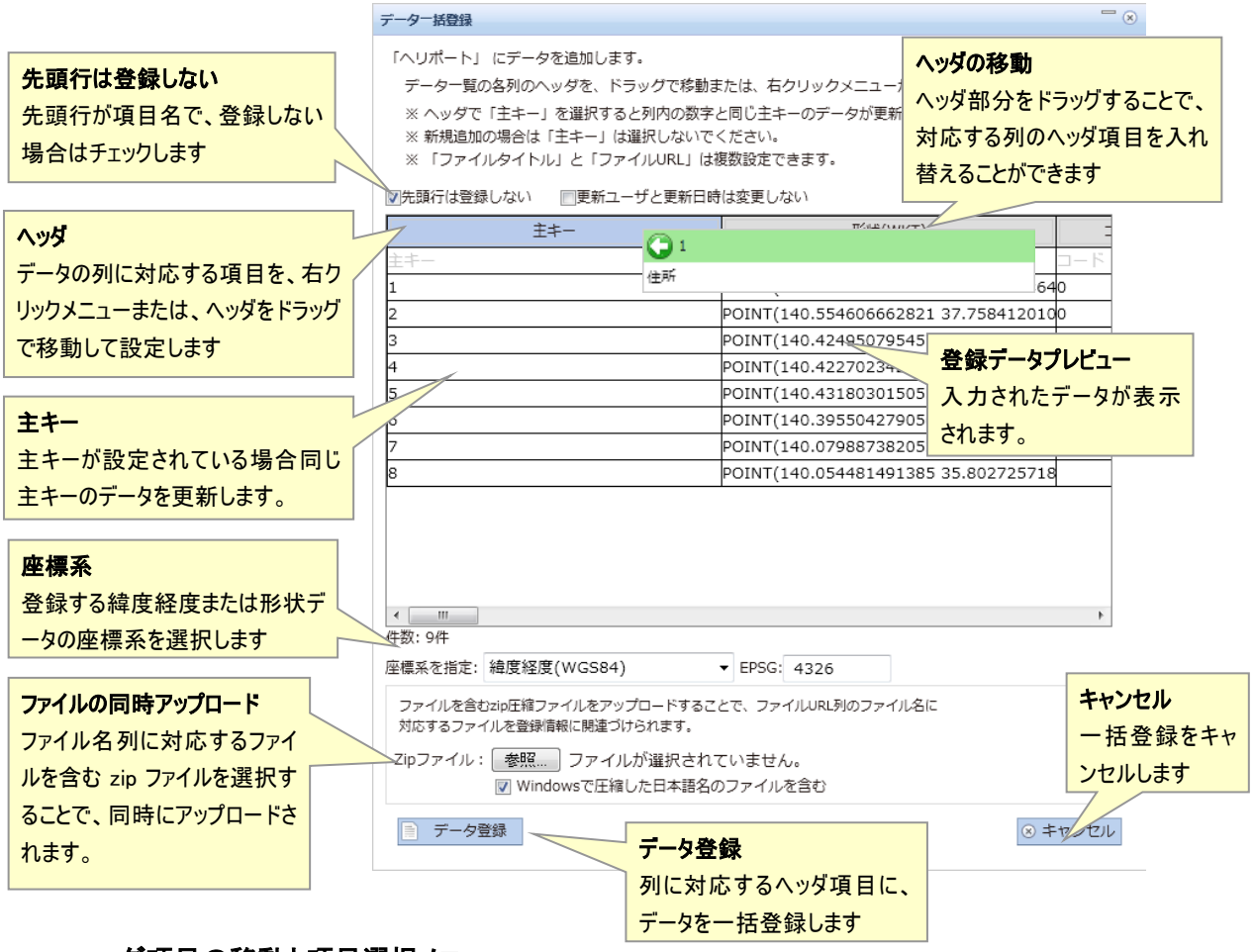
・データ入力画面

表形式のデータ（タブ区切りまたカンマ区切りのテキストデータ）を、コピー＆ペーストで入力し、プレビューボタンを押すとデータプレビュー画面へ進みます。



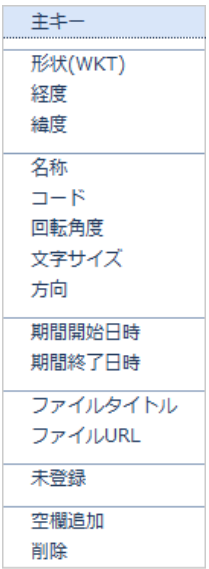
・登録データプレビュー画面

データ入力画面で入力したデータを、表にしてプレビューします。ここでは、データをドラッグ &ドロップで並べ替えることができます。データ登録ボタンを押すと、登録完了画面へ進みます。



ヘッダ項目の移動と項目選択メニュー

ヘッダを右クリックすることで、列に対応する項目を選択するメニューが表示されます。



・主キー、位置情報（形状(WKT)、経度、緯度）、項目の属性、期間情報、未登録を選択することができます。

・登録済みのデータで主キーを持つものは主キーを選択することで、同じ主キーのデータが更新されます。

・形状(WKT)では、WKT 形式の文字列で記述したラインやポリゴンの形状を登録することができます。

・ファイルタイトルとファイル URL は複数設定可能です。

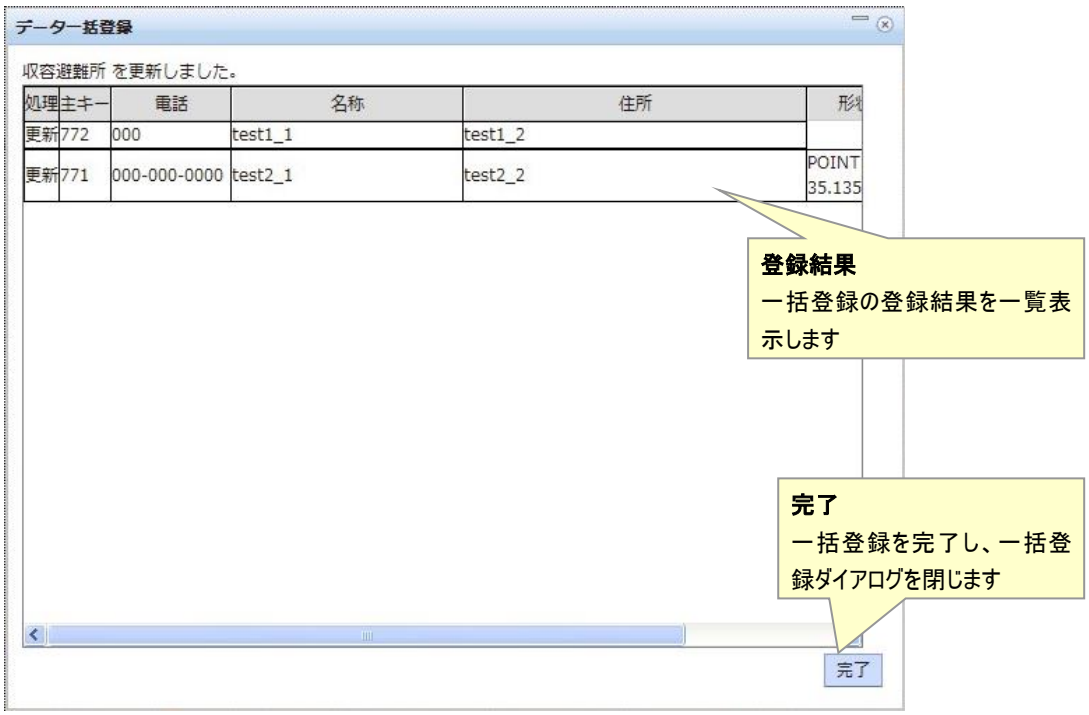
・ファイルタイトルは入力順でファイル URL に対応づけられます。

・空欄追加は未登録のヘッダを追加して追加場所より右のヘッダを1つ右に移動します。 削除はヘッダを削除し削除場所より右のヘッダを 1 つ左に移動します。

・データ登録完了画面

登録が完了したデータを一覧表示します。

「処理」欄には、新規に登録された場合は追加、主キーを元に更新された場合は更新、データにエラーがある場合はエラーと表示され、登録された属性データと、位置情報が表示されます。



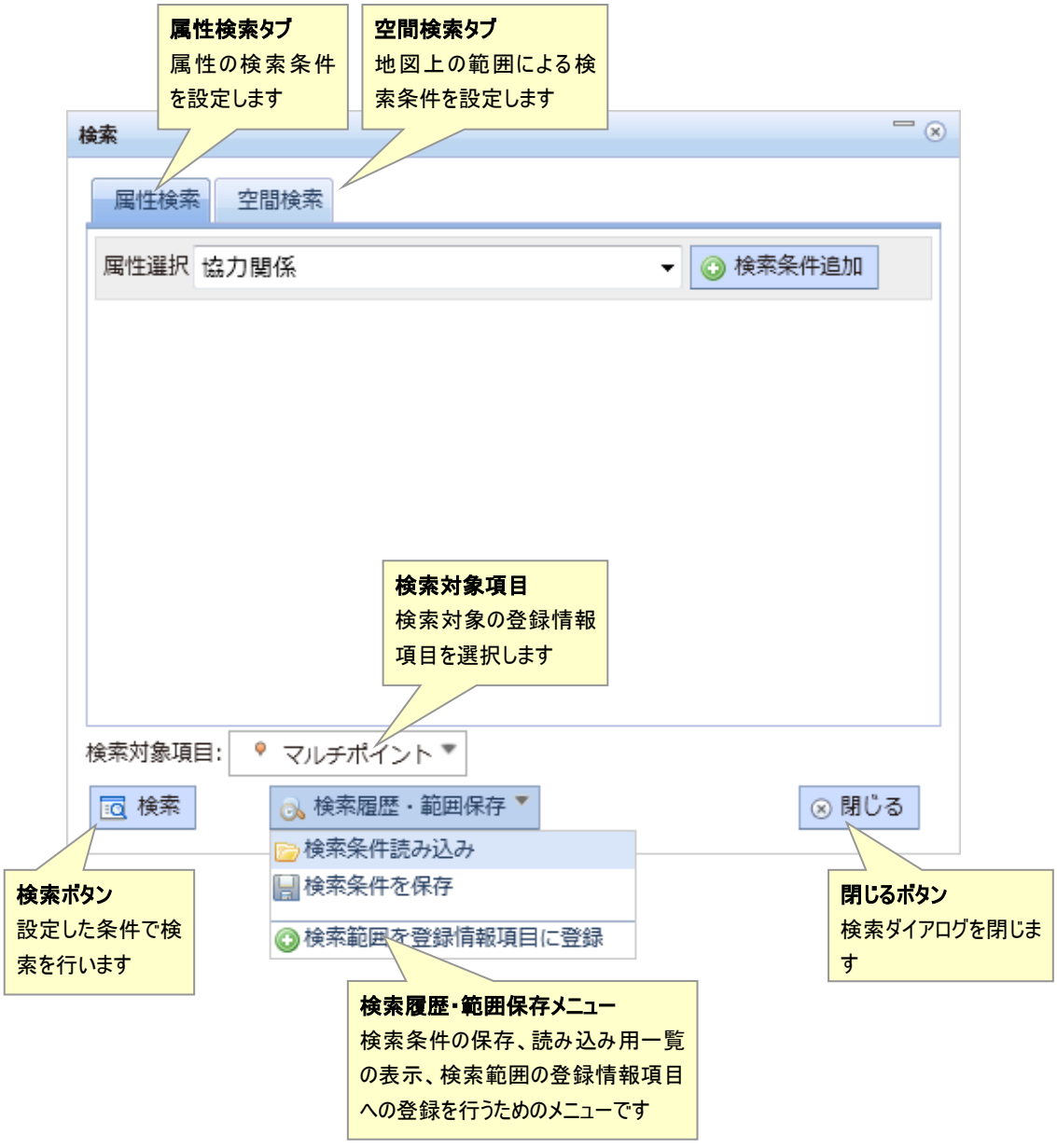
⑲ 登録情報検索ダイアログ

情報一覧の検索ボタンを押すことで、属性検索条件を入力用のダイアログが表示されます。

「属性検索」タブでは属性の検索条件を設定します。

「空間検索」タブでは、地物および入力範囲の検索条件を設定します。

「検索対象項目」で検索対象の項目を選び、「検索」ボタンを押すことで、情報一覧画面に検索結果が一覧表示されます。

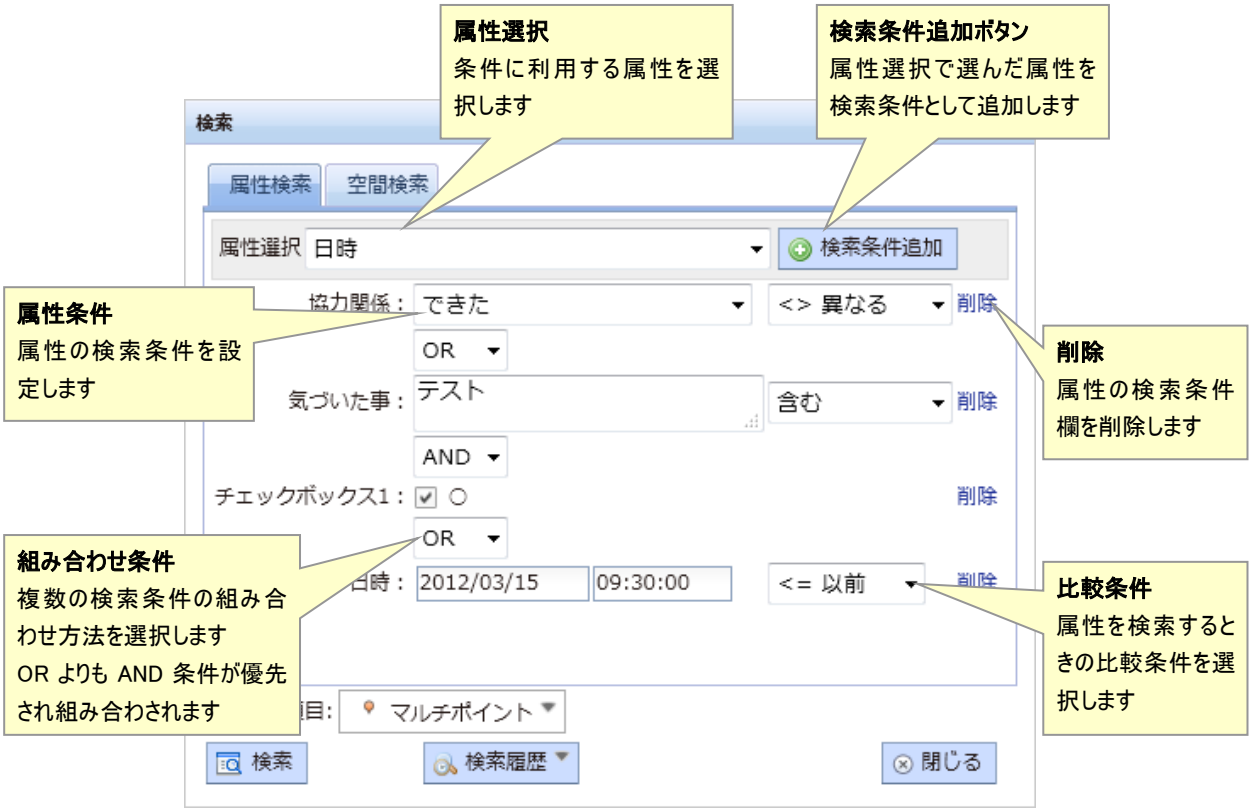


・属性検索タブ

属性検索タブでは、検索対象項目の属性ごとに複数の検索条件を指定することができます。

属性選択欄で、条件を設定する属性を選択し、「検索条件追加」ボタンを押すことで、検索条件入力欄が表示されます。

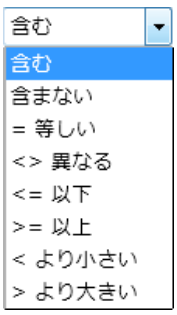
同じ属性で複数の条件を設定して範囲検索することも可能です。複数条件の組み合わせ時は、AND/OR の条件で検索できますが、AND 条件が後ろにある場合も OR 条件よりも優先されて演算されます。



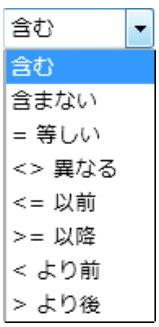
・比較条件

文字列と数値の比較条件と、時間の比較条件は比較条件リストから選択できます。

数値や時間の場合でも、「含む」「含まない」の場合は、文字列検索を行います。



文字列、数値の比較条件



日付、日時の比較条件

属性条件には属性のデータ型に合わせて、文字列、数値、選択欄、チェックボックス、日付、日時の入力欄が表示されます。

日付、日時の検索条件は、カレンダーおよび時間選択リストから選択するか、直接文字を入力することで設定できます。



・空間検索タブ

空間検索タブでは、地図上で入力した範囲や、登録情報・主題図の地点や形状を、範囲検索条件として設定することができます。

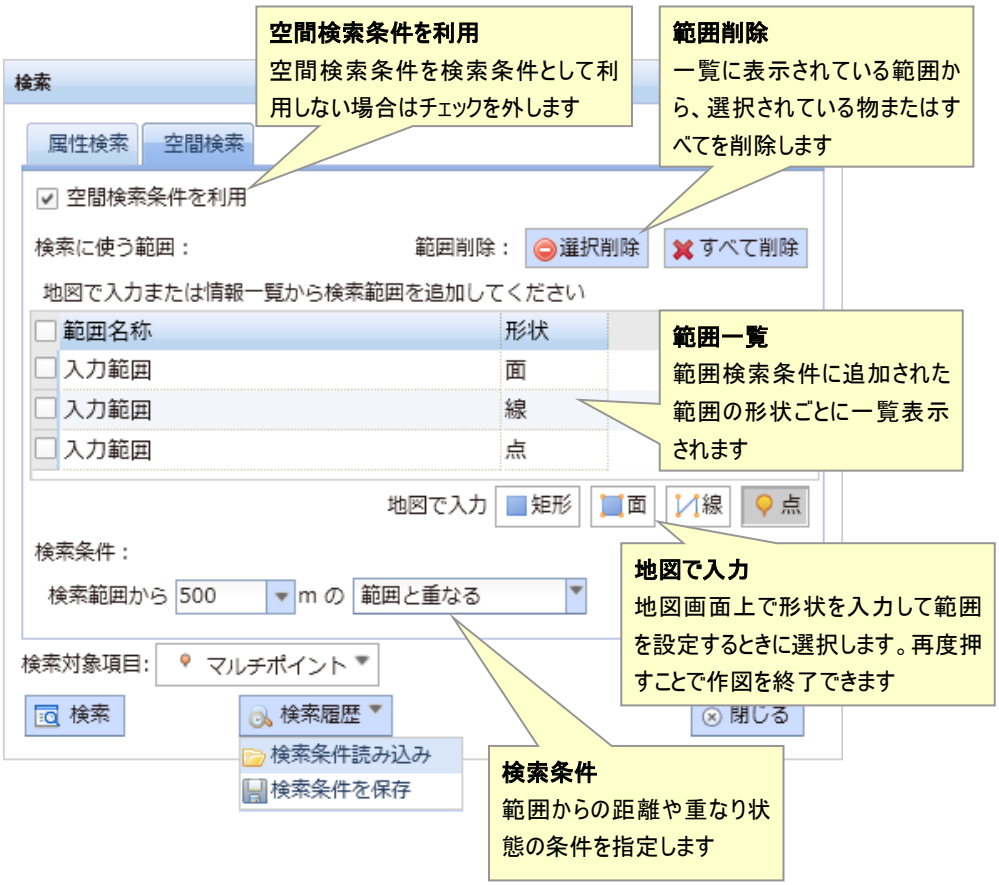
検索範囲の設定は以下の方法で行うことができます。

・地図画面上での、矩形・面・線・点の入力

・情報一覧で地物をチェックして「検索範囲に追加」ボタンを押す

・地図上の登録情報のポップアップ内のメニューの「検索範囲に追加」を選択

・地図上の主題図のポップアップ内の一覧のリンクから「検索範囲に追加」を選択



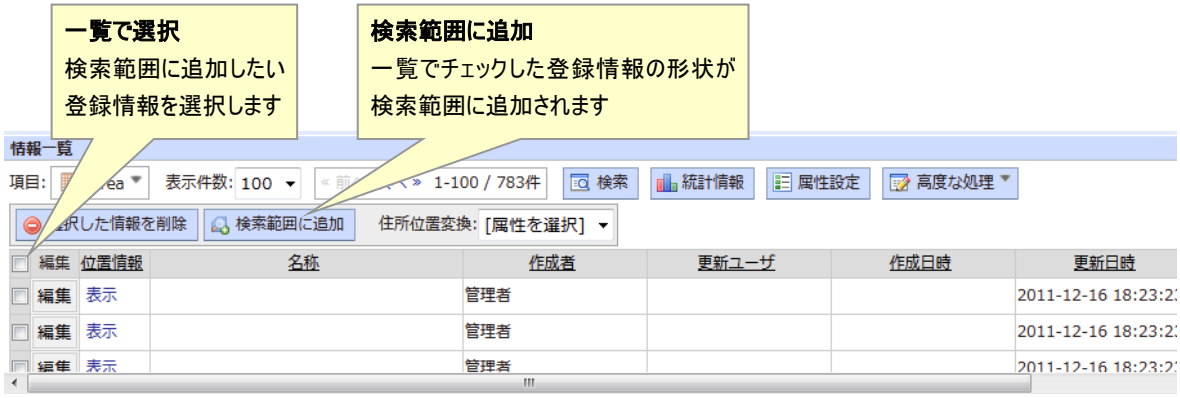
・主題図の範囲を空間検索範囲に追加する

　地図クリックで表示される主題図の一覧で、左に表示されているアイコンをクリックすることで、主題図の形状を空間検索範囲に追加することができます。



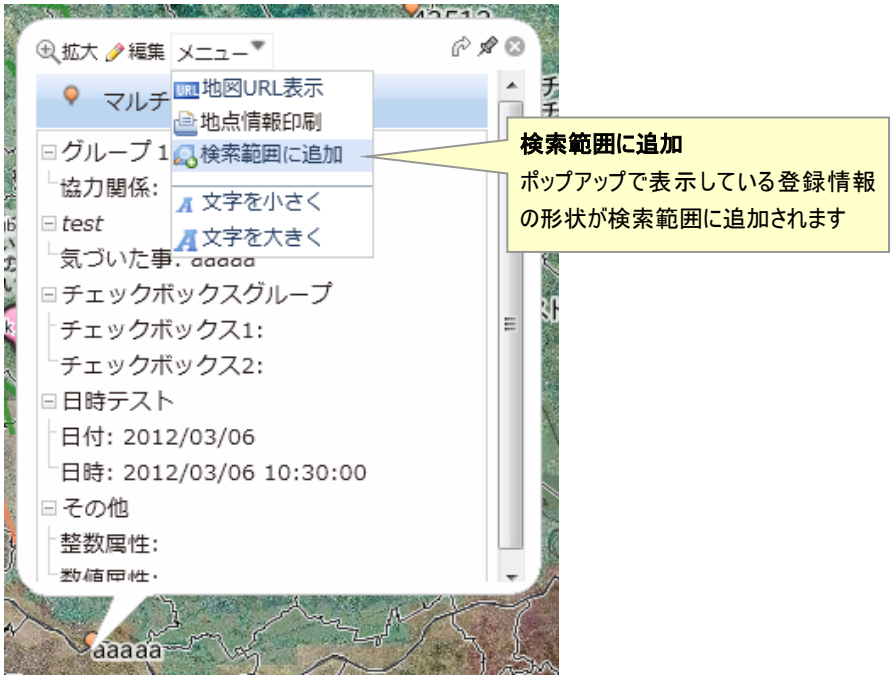
・情報一覧からの検索範囲追加

情報一覧で、検索範囲を追加したい登録情報のチェックボックスを選択し、「検索範囲に追加」ボタンを押すことで、登録情報の形状が検索範囲に追加されます。



・地図画面のポップアップからの検索範囲の追加

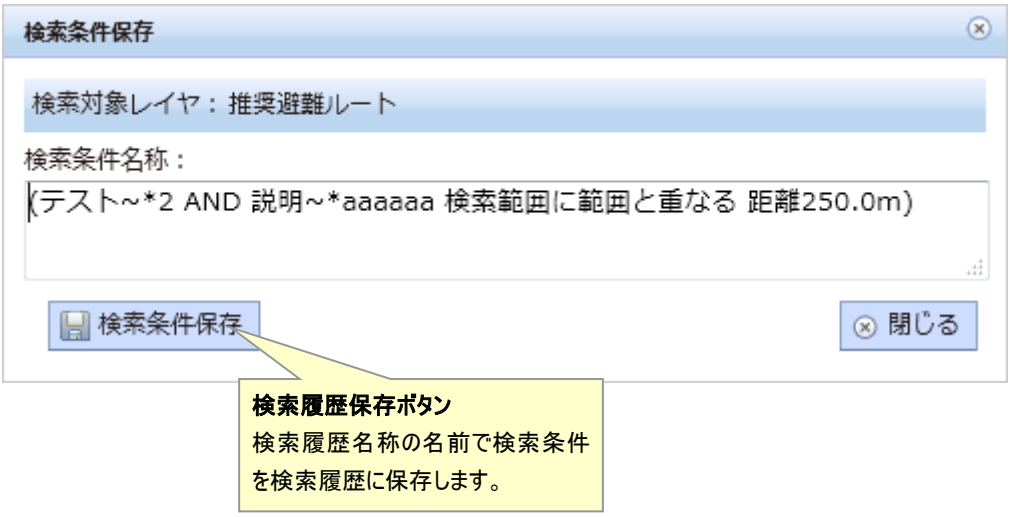
地図画面で登録情報をクリックすることで表示されるポップアップのメニューから、「検索範囲に追加」を選択することで、ポップアップに表示されている登録情報の形状が検索範囲に追加されます。



・検索条件保存ダイアログ

検索履歴・範囲保存メニューから、「検索条件保存」を選択することで、名前をつけて検索履歴を保存することができます。

名称にはあらかじめ検索条件の文字列表現が設定されます。



・検索履歴読み込みダイアログ

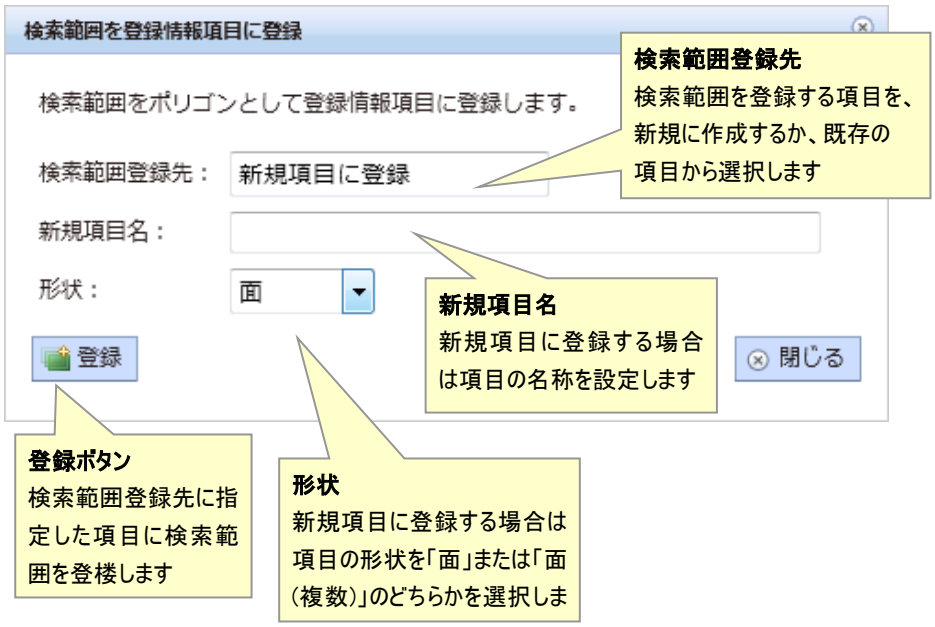
検索履歴・範囲保存メニューから、「検索条件読み込み」を選択することで、保存されている検索条件の一覧を表示し、検索条件を読み込み検索ダイアログに設定することができます。



・検索範囲登録ダイアログ

検索履歴・範囲保存メニューから、「検索範囲を登録情報項目に登録」を選択することで、検索範囲のポリゴンを、新規項目または既存のポリゴン項目に登録することができます。

検索範囲登録先で「新規項目に登録」を選択した場合は、ポリゴンの登録情報項目を新規に作成し、そこに検索範囲が複数の単一ポリゴンまたは 1 つのマルチポリゴンとして登録されます。

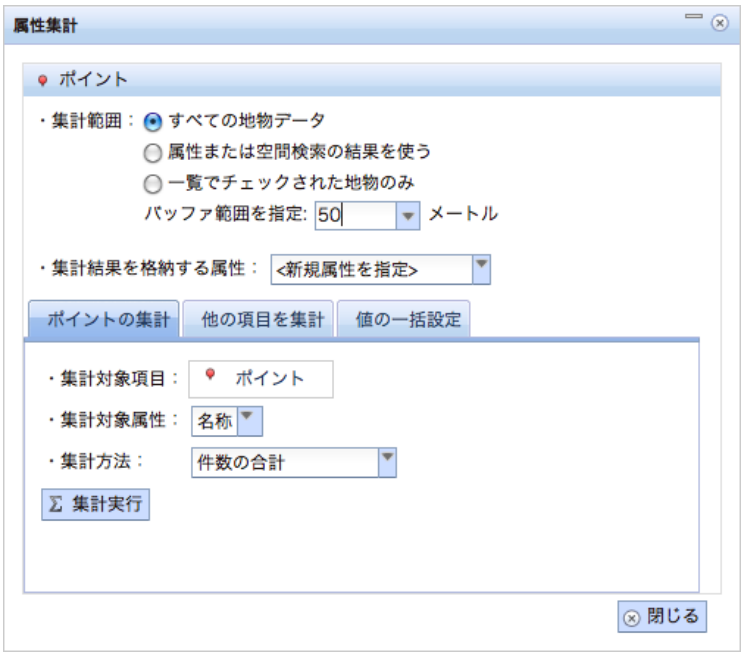


⑳ 属性集計・更新画面

項目の属性の集計または一括設定を行うための画面です。

集計を行う項目内の地物の範囲の選択と、集計先の属性の指定を行い、自身の項目の値を集計するか、他の項目の値を集計するか、一括設定するかをタブで選択し、「集計実行」ボタンを押すことで、指定した属性に値を設定します。

集計対象は、項目の属性、または地物の形状（長さ、面積）を選択します。



「値の一括設定」タブでは、地物の形状に応じて次の値を設定することもできます。

地物の形状	一括設定できる値
点	地物の標高値 （国土地理院の標高 API を利用）
線、線（複数）	地物の長さ
面、面（複数）	地物の面積



統計情報画面

項目の属性の統計を表示する画面です。

統計を行う範囲の選択と、「属性」欄で統計を行う属性を指定します。属性型が選択の場合は、その内訳を表示します。

地物がラインやポリゴンの場合は、長さ、または面積の統計情報も表示します。

統計結果は指定した文字コードで CSV ファイル出力します。



21　時系列スライダ画面

再読み込み設定がされた主題図で、地図表示の際の Capabilities の読み込みで、時系列情報が含まれている場合、時間スライダが表示されます。

時系列レイヤの日時の範囲が図示され、スライダの範囲を選択することで複数の時系列レイヤの日時の範囲を設定します。



拡大ボタンは選択した範囲にスライダの範囲の拡大を行います。

縮小ボタンはスライダを初期の範囲に戻します。

リロードボタンでは Capabilities を再度読み込み、最新の日時に更新します。

編集アイコンではレイヤごとの時系列設定を行う時間スライダに表示を切り替えます。

編集アイコンで選択された時系列レイヤの時点スライダが表示されます。時系列レイヤの日時を時点で設定します。



矢印ボタンは現在表示日時の前後の日時に移動を行います。

時系列レイヤの日時を範囲で設定する期間スライダを表示します。時間範囲に含まれる時系列データを全て表示します。

